

川崎市

防災まちづくり事例集

わたしたちのまちの防災活動



令和8年3月

(改訂版)

目次

はじめに.....	1
■地域住民主体の防災まちづくり.....	1
■事例集作成の目的.....	1
■事例集の使い方.....	2
■資料掲載 Web サイト.....	2
■事例インデックス.....	2
■川崎市の防災まちづくり支援.....	3
■防災まちづくり支援の流れ.....	3
1 地域や一人ひとりが備える.....	4
事例1 防災啓発ニュースレター.....	5
事例2 マイタイムライン（地震編）.....	6
事例3 マイタイムライン（水害編）.....	7
事例4 防災用品の共同購入.....	8
2 地域の課題や資源を確認する.....	9
事例5 防災アンケート.....	10
事例6 防災まち歩き.....	11
事例7 防災意見交換会.....	12
事例8 防災倉庫の棚卸.....	13
3 災害対応の体制を整える.....	14
事例9 安否確認訓練.....	15
事例10 災害時要援護者の支援体制づくり.....	16
事例11 災害時ボランティア.....	17
事例12 消火ホースキット使用訓練.....	18
事例13 民間企業等との防災協定締結.....	19
4 地域の中で連携する.....	20
事例14 イベント型防災訓練.....	21
事例15 防災ポリ袋クッキング.....	22
事例16 町会イベント×防災活動.....	23
5 参考.....	24
5-1 実施に向けた時間と必要な人数の関係性.....	25
5-2 よくある質問 Q&A.....	26
5-3 取組参考資料.....	27
5-4 町会別取組一覧(R7年度末時点).....	46

はじめに

■地域住民主体の防災まちづくり

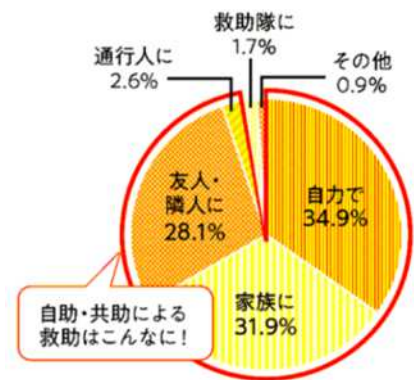
防災まちづくりとは、ハード対策（建築物の耐震化、道路・公園の整備など）と、ソフト対策（防災教育、災害時の情報伝達の仕組みや体制づくりなど）に取り組み、**災害に強いまちをめざす**ことです。



防災まちづくりでは、自助・共助・公助の力が重要であり、個人・地域コミュニティ・公的機関の各々が防災対策に取り組み連携することが不可欠です。

しかし、いざ大きな災害が発生した際、特に災害発生直後において、公的機関が担う**公助には限界**があります。右のグラフにあるように、平成7(1995)年1月17日に発生した兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)では、生き埋めや閉じ込められた際の救助は9割以上が自助・共助によるものでした。

このことから、大規模災害が発生した際の被害を抑えるためには、平時から「**自助・共助により地域防災力を高める**」=『**地域住民主体の防災まちづくり**』に取り組むことが重要です。



生き埋めや閉じ込められた際の救助

出典：一般社団法人日本火災学会
「兵庫県南部地震における
火災に関する調査報告書」

■事例集作成の目的

防災まちづくりの取組はどの地域にも必要な取組です。

防災まちづくり事例集については、**地域の方々が主体的に実施した取組を紹介**することで、地域での防災活動のきっかけづくりや地域防災力の向上に役立てていただくことを目的に作成しました。防災活動の取組方法や課題解決のヒントとしてご使用いただければ幸いです。

なお、事例集は、川崎市が実施している防災まちづくり支援における取組を掲載していますが、市内にはほかにも多くの優れた取組があるかと思えます。先進的な取組については裏表紙に記載している問い合わせ先(川崎市まちづくり局防災まちづくり推進課)へご紹介ください。

■事例集の使い方

この事例集は4つのテーマ別に構成しています。活用にあたっては、関心のあるテーマや解決したいテーマなど、必要に応じて、参考になるところから読んでみてください。

■資料掲載 Web サイト

事例集掲載の防災活動に取り組むにあたって参考になる資料を、下記 Web サイトで掲載しております。

川崎市：防災まちづくり支援 ※「川崎市 防災まちづくり事例集」で検索

<https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000113004.html>

本誌の電子版(PDF)も掲載しています。



■事例インデックス

	活動事例	ページ
1 地域や一人ひとりが備える	事例1 防災啓発ニュースレター	5
	事例2 マイタイムライン(地震編)	6
	事例3 マイタイムライン(水害編)	7
	事例4 防災用品の共同購入	8
2 地域の課題や資源を確認する	事例5 防災アンケート	10
	事例6 防災まち歩き	11
	事例7 防災意見交換会	12
	事例8 防災倉庫の棚卸	13
3 災害対応の体制を整える	事例9 安否確認訓練	15
	事例10 災害時要援護者の支援体制づくり	16
	事例11 災害時ボランティア	17
	事例12 消火ホースキット使用訓練	18
	事例13 民間企業等との防災協定締結	19
4 地域の中で連携する	事例14 イベント型防災訓練	21
	事例15 防災ポリ袋クッキング	22
	事例16 町会イベント×防災活動	23

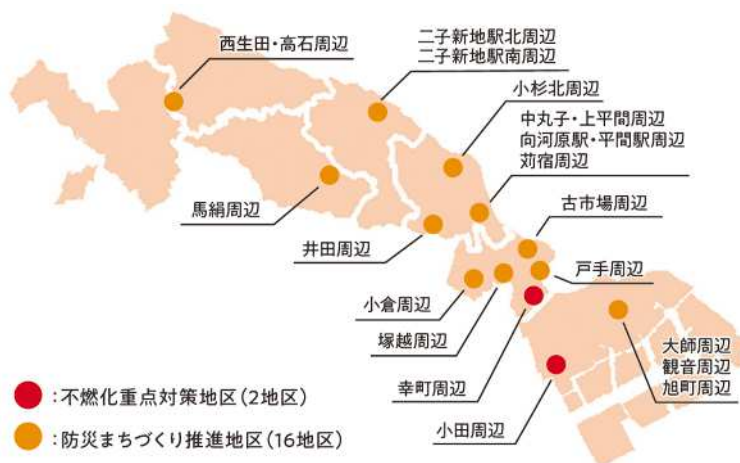
■川崎市の防災まちづくり支援

平成21(2009)年度川崎市地震被害想定調査において、死亡原因の95%は建物倒壊と火災が占めており、中でも火災については、危険性の高い地区が偏在していることが分かりました。

そこで火災延焼被害や建物倒壊、避難などの課題が特に大きい2地区については『不燃化重点対策地区』に指定し、条例による建物の防火規制強化や防災空地の創出などにより、まちの不燃化を推進しています。

また、火災延焼被害などの課題が大きい16地区については『防災まちづくり推進地区』に指定し、「防災まちづくり支援」として、町会などの単位で地域住民主体の防災まちづくりの取組を支援しています。

防災まちづくり支援については、防災の視点から地域の方々が主体となってまちづくりを行うことができるよう、様々な防災に関する取組を提案・実施しています。



■防災まちづくり支援の流れ

防災まちづくりの支援は、『防災まちづくり支援指針』に基づき、1つの町内会について3年間行っています。

まず1年目は、地域における災害の危険性や防災上の課題などについて、防災講座、防災アンケートや防災まち歩きなどを通して、住民の方の意見や認識を整理し、地域へ広く情報発信することから始めます。

2年目は、1年目の取組によって分かってきた地域の課題や関心ごとを基に、地域の実情に応じた様々な取組を、できることから少しずつオーダーメイドで実施し、成功体験を重ねます。

3年目は、2年目の効果や反省点などを踏まえて、改善しながら引き続き取組を実施しつつ、町内会独自の防災訓練の実施など、災害時に効果的に機能する防災活動体制を構築することで地域コミュニティを強化し、関係人口を増加させていきます。また、3年間の取組結果を踏まえ、支援終了後も町内会主体で防災活動を続けていくための指針として、地域独自の「防災まちづくり計画」を作成します。

少し難しいように捉えがちですが、あくまでも無理なくできる範囲でということの基本として支援を行っています。



【防災まちづくり支援指針】

- 地域ニーズに応じた取組の積み重ね＜成功体験＞
- 地域コミュニティ強化による地域防災力の向上＜関係人口増加＞
- 防災まちづくり計画の作成＜活動継承＞

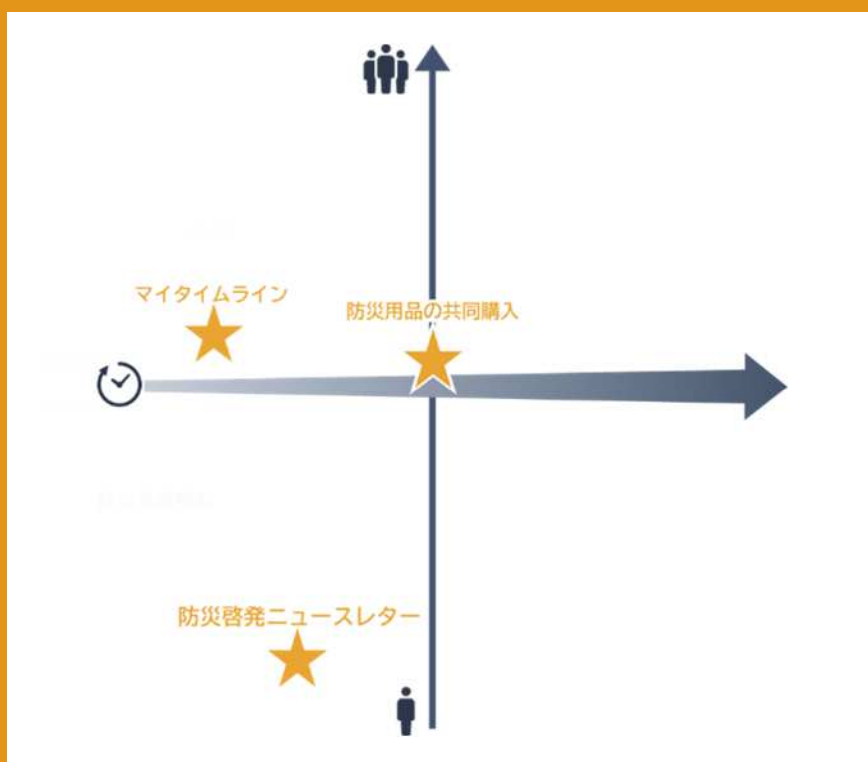


1

地域や 一人ひとりが 備える

地域にお住まいの方一人ひとりが防災意識を高め、備蓄などしっかり対策していくことにより、災害に強いまちづくりにつながっていきます。小規模でも定期的に行うことで、少しずつ防災の輪が広がります。

- 事例1 防災啓発ニュースター
- 事例2 マイタイムライン(地震編)
- 事例3 マイタイムライン(水害編)
- 事例4 防災用品の共同購入



事例1 防災啓発ニュースレター

取組内容と実施方法

概要

防災まちづくりに関するお知らせや災害事例、ハザードマップなどを掲載し、地域の方に広く防災意識啓発を行い、活動・取組の参加を促す。

実施時期など

時期: てはじめに!

取組難易度: ★☆☆

対象者: 町会役員、町会加入者 など

主な必要資料 (P27 参考)

ハザードマップ/地域の写真 など

実施後における主な取組事例

- マイタイムライン【地震編】【水害編】(P6,7)
- 防災アンケート(P10)
- 防災まち歩き(P11)
- 防災意見交換会(P12)



ハザードマップはこちらから確認できます!

川崎市防災ポータルサイト
<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/hazardmap/hazardmap.html>



実施のポイント

1 地域のリスクや対策を掲載する

- 地域の方の防災意識の向上のために、地域の災害リスクやどのような対策があるのかなどを掲載しましょう。

2 顔の見える関係づくり

- 災害時、地域の方々の協力が欠かせません。防災に関する内容と合わせ、町会活動も掲載することで、町会がどのような活動を行っているのか知ってもらい、活動の参加者を増やすきっかけをつくることができます。

3 内容によって配布方法を変える

- 広く知ってもらいたい情報は全戸配布にしたり、子どもやその親世代に知ってもらいたい情報は地域内の学校と連携して配布をしたり、内容に応じて、配布方法を検討しましょう。



事例2 マイタイムライン(地震編)

取組内容と実施方法

概要

周辺の避難先を記載したマップを基に、災害状況別の避難先や一人ひとりに合った避難ルートを考える。

実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★☆☆

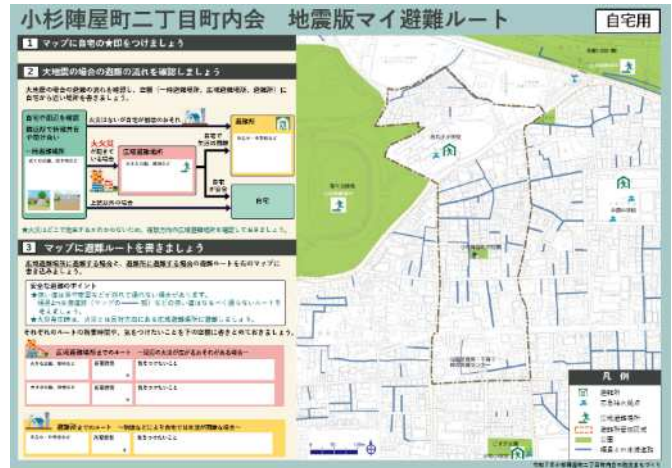
対象者:町会役員、町会加入者 など

主な必要資料(P28~29 参考)

ハザードマップ/マイタイムラインシート など

実施後における主な取組事例

- 防災用品の共同購入(P8)
- 防災まち歩き(P11)
- 災害時要援護者の支援体制づくり(P16)
- 民間企業等との防災協定締結(P19)



マイタイムライン (地震編) とは

大規模な地震時に、「いつ」「何をするのか」事前に自分だけの避難行動計画を時系列ごとに整理するものです。

ハザードマップはこちらから確認できます！
 川崎市防災ポータルサイト
<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/hazardmap/hazardmap.html>

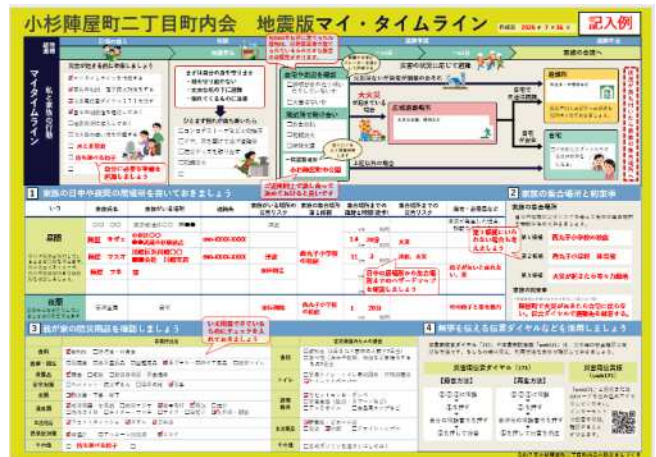
実施のポイント

1 マイタイムラインシートの作成

- 巻末の「5-3」に掲載している資料は市 HP でダウンロードできるので、町会周辺の地図に置き換えて、町会独自のマイタイムラインを作成してみてください。

2 作成した人どうしで共有する

- 自分が作成したマイタイムラインを他の方と共有することによって、道路が狭くて通り抜けが不安な道など、ハザードマップには記載のない、その場所に住む方しか知らないような情報を得ることができます。



3 作成したマイタイムラインを地域にも広げていく

- 作成したマイタイムラインを町会内に周知することで、地域の方に作成を促し、避難に関する意識啓発を行いましょう。

事例3 マイタイムライン(水害編)

取組内容と実施方法

概要

災害リスク等を記載したマップを基に、自宅の災害リスクの確認や、災害状況別の避難先や一人ひとりに合った避難方法を考える。

実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★☆☆

対象者:町会役員、町会加入者 など

主な必要資料(P30~31 参考)

ハザードマップ/マイタイムラインシート など

実施後における主な取組事例

- 防災用品の共同購入(P8)
- 防災まち歩き(P11)
- 災害時要援護者の支援体制づくり(P16)
- 民間企業等との防災協定締結(P19)

マイタイムライン(水害編)とは

台風など大雨の際、「いつ」「何をするのか」事前に自分だけの避難行動計画を時系列ごとに整理するものです。

ハザードマップはこちらから確認できます!
川崎市防災ポータルサイト
<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/hazardmap/hazardmap.html>



実施のポイント

1 マイタイムラインシートの作成

- 巻末の「5-3」に掲載している資料は市HPでダウンロードできるので、町会周辺の地図に置き換えて、町会独自のマイタイムラインを作成してみてください。

2 作成した人どうして共有する

- 自分が作成したマイタイムラインを他の方と共有することによって、水害時に冠水して通り抜けが不安な道など、ハザードマップには記載のない、その場所に住む方しか知らないような情報を得ることができます。

3 作成したマイタイムラインを地域にも広げていく

- 作成したマイタイムラインを町会内に周知することで、特にすぐの避難が難しい方など広く地域の方に避難に関する意識啓発を行いましょう。

事例4 防災用品の共同購入

取組内容と実施方法

概要

一人ひとりの備蓄を促すため、町会館や公園など災害時の活動拠点となる場所で、消火器やトイレの凝固剤などの防災用品の共同購入を行う。

実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★☆☆

対象者:町会加入者



主な必要資料(P32~33 参考)

共同購入応募チラシ/受け渡しに関するチラシ など

実施後における主な取組事例

- 災害時要援護者の支援体制づくり(P16) など

実施のポイント

1 防災用品の決定

- 地域の課題となる災害や防災アンケート(P10)結果を参考に、購入する防災用品を決定しましょう。過去に実施した町会では、消火器やトイレ凝固剤の購入の他に、不要になった消火器の回収が特に反響がありました。

2 業者の条件整理と決定

- 商品の搬入方法や手数料、代金の支払い方法など、業者に求める条件を整理しましょう。
- 50個や100個など大体の個数で業者に見積もりをとりましょう。

3 回覧などで購入者を募集する

- 回覧などで購入実施者を募集して、注文個数を把握しましょう。購入希望者には受け渡し日時などをお知らせする案内を配りましょう。32、33ページに応募チラシなどのテンプレートを掲載していますので、実施する際は参考にしてください。
- 募集の回答率を上げるためには、Web フォームを活用することが効果的です。その際は、Web フォームの二次元コードも募集用紙に入れるようにしましょう。

4 地域の方との交流が第一

- この取組は普段町会活動に馴染みのない方でも参加しやすいです。参加された方に、町会の取組を知ってもらえるよう、積極的にコミュニケーションを取りながら進めることが大切です。



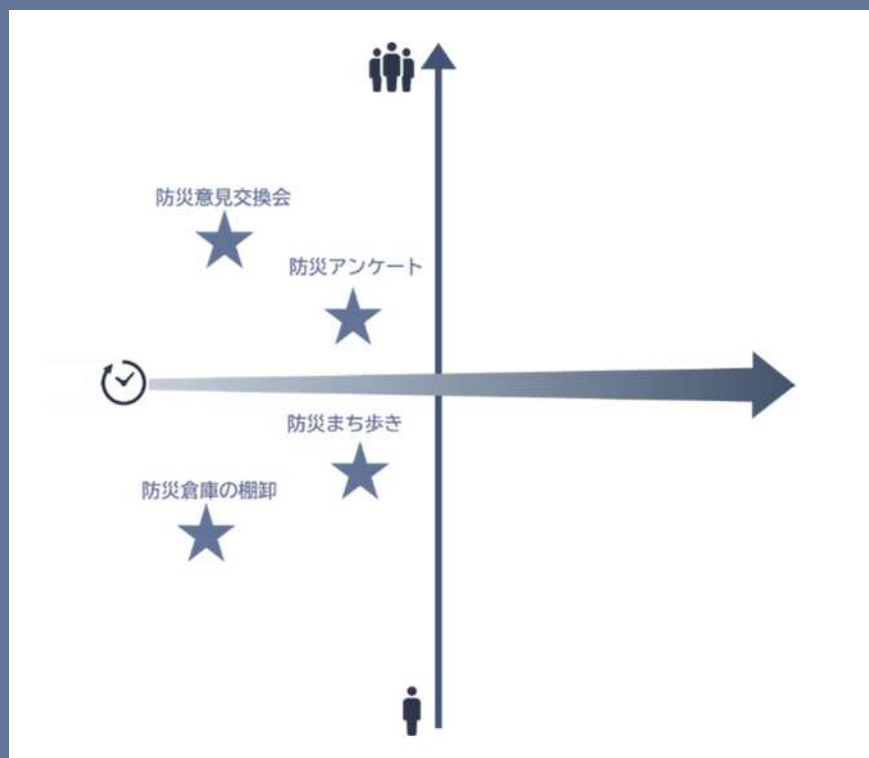
令和6年元日に発生した能登半島地震の影響で、被災地の避難所のトイレでは衛生環境などから体調を崩される方も多かったようです。自宅避難した際も役立つ凝固剤や生活用水など普段から備えておくことが大切です。



2 地域の 課題や資源を 確認する

災害に強く、地域のつながりも強いまちにするためには、地域の課題や資源を知ることが大切です。防災の視点で地域を見て、地域にあった活動の検討につなげましょう。

- 事例5 防災アンケート
- 事例6 防災まち歩き
- 事例7 防災意見交換会
- 事例8 防災倉庫の棚卸



事例5 防災アンケート

取組内容と実施方法

概要

地域の課題や傾向を知るために、防災意識に関するアンケートを実施する。

実施時期など

時期:年度初めころ

取組難易度:★☆☆

対象者:町会加入者

主な必要資料(P34 参考)

アンケート用紙



実施後における主な取組事例

- 防災用品の共同購入(P8)
- 防災まち歩き(P11)
- 防災意見交換会(P12)

実施のポイント

1 地域に合った質問を考える

- 町会としてどのような活動が効果的かを考えた上で、質問項目を設定しましょう。地域によって状況は異なりますが、34ページにテンプレートを掲載していますので、実施する際は参考にしてみてください。
- 防災に関する項目だけでなく、地域の方が何に関心を持っているのか把握できる項目も考えましょう。

2 WEB 回答も活用する

- 回答率を上げるためには、Web フォームを活用することが効果的です。その際は、Web フォームの二次元コードもアンケート用紙に入れるようにしましょう。

3 配布・回収方法

- 配布は、町会便りなどにあわせて配布すると効果的です。回収は、負担にならないよう、地域の方々の協力を得ましょう。

4 結果は必ず周知

- アンケート結果は取りまとめて、回覧などで周知しましょう。
- 結果を踏まえて、地域に応じた活動やイベントなどを検討しましょう。

事例6 防災まち歩き

取組内容と実施方法

概要

普段歩いている地域を防災の視点で歩き、地域の防災上の課題や資源を発見する。

実施時期など

時期:春・秋(気候が穏やかな時期がおすすめ)

取組難易度:★☆☆

対象者:町会役員、町会加入者 など



主な必要資料(P35 参考)

見るべきポイント/町会の地図/ハザードマップ など

実施後における主な取組事例

- 防災啓発ニュースレター(P5)
- 防災マップ作成
- 防災意見交換会(P12)

ハザードマップはこちらから確認できます！

川崎市防災ポータルサイト
<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/hazardmap/hazardmap.html>



実施のポイント

1 地域の気になるポイントを事前に調査

- 事前に、地震によって通り抜けが心配になる狭い道や行き止まり、避難場所など地域の気になるポイントを調査し、まち歩きのルートを考えましょう。
- 調査を基に、『地域の見べきポイント』を整理すると、地域の課題や資源が発見しやすいです。

2 災害時を想像しながら歩いてみる

- 事前に調査したポイントを確認しながら、まち歩きを実施しましょう。災害時に役に立ちそうな資源はないか、避難の妨げになるものはないかなど、災害時を想像しながら歩いてみるとよいでしょう。

3 発見したことを地図にまとめて共有する

- まち歩きで発見したことを地図に書き起こし、回覧などで地域に共有しましょう。可視化してみると地域の特徴が見えやすくなります。あわせて、どんなことをすれば地域がよりよくなるか、参加者で意見交換を行い、次の活動の検討につなげましょう。



事例7 防災意見交換会

取組内容と実施方法

概要

備蓄や避難など防災に関することや、町会内の組織体制や地域の気になっていることなどテーマを幅広く設けて意見交換を行い、課題や資源を整理する。

実施時期など

時期: 翌年度の活動を決める前がおすすめ

取組難易度: ★★☆☆

対象者: 町会役員、町会加入者、学校関係者など



主な必要資料 (P36 参考)

ハザードマップ/意見交換用シート

実施後における主な取組事例

- マイタイムライン【地震編】【水害編】(P6,7)
- 防災用品の共同購入(P8)
- イベント型防災訓練(P21)

ハザードマップはこちらから確認できます！

川崎市防災ポータルサイト

<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/hazardmap/hazardmap.html>



実施のポイント

1 テーマや周知は幅広く

- 防災だけでなく、地域の団体やイベント状況、今後あったら良いなと思うものなど、話すテーマは幅広く設けましょう。
- マンションにお住まいの町会加入者、現役世代、学校の先生など、役員に限定せずに参加を呼びかけると、様々な視点からの意見を集めることができます。



2 全員で意見交換を

- 意見が偏らないよう、1テーマに対し1人1回以上は発言できるように気をつけましょう。
- テーマに対しての回答内容や方向性を予め考えておくと、当日の進行がしやすくなります。

3 結果を区役所と共有

- 意見交換で出た内容を区役所と共有しましょう。関連する他の町会の事例などを聞き、今後の活動の方向性の検討につなげていきましょう。

事例 8 防災倉庫の棚卸

取組内容と実施方法

概要

備蓄状況から備えるべき物を検討するため、防災倉庫内の資器材の数量、状態などを確認し、リストの作成・更新を行う。

実施時期など

時期:春・秋(気候が穏やかな時期がおすすめ)

取組難易度:★☆☆

対象者:町会役員など



主な必要資料(P37 参考)

防災倉庫点検リスト

実施後における主な取組事例

- 新たな備蓄品の購入、既存の備蓄品の買い替え
- 防災用品の共同購入(P8)
- イベント型防災訓練(P21)

実施のポイント

1 事前に参加人数・規模を調整する

- 運び出し以外に、記録、状態確認など人数が必要になります。声掛けする人数を調整しましょう。

2 確認だけでなく、試運転も

- 発電機や投光器などの資器材は、その場で試運転をして動作確認を行いながら、扱える人を増やしましょう。

3 今後町会として何を備えたら良いか考える

- 町会としての備蓄は限界があり、地域全体の食料や飲料水などを備えておくのは不可能です。棚卸の結果や地域の特性、被災地で役に立った資器材を参考に、今後何を備えたら良いか意見交換をしましょう。

4 補助金を活用する

- 市では防災資器材購入における補助金交付制度があります。購入するものが決定したら、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金交付金要綱」を確認し、申請を行いましょう。

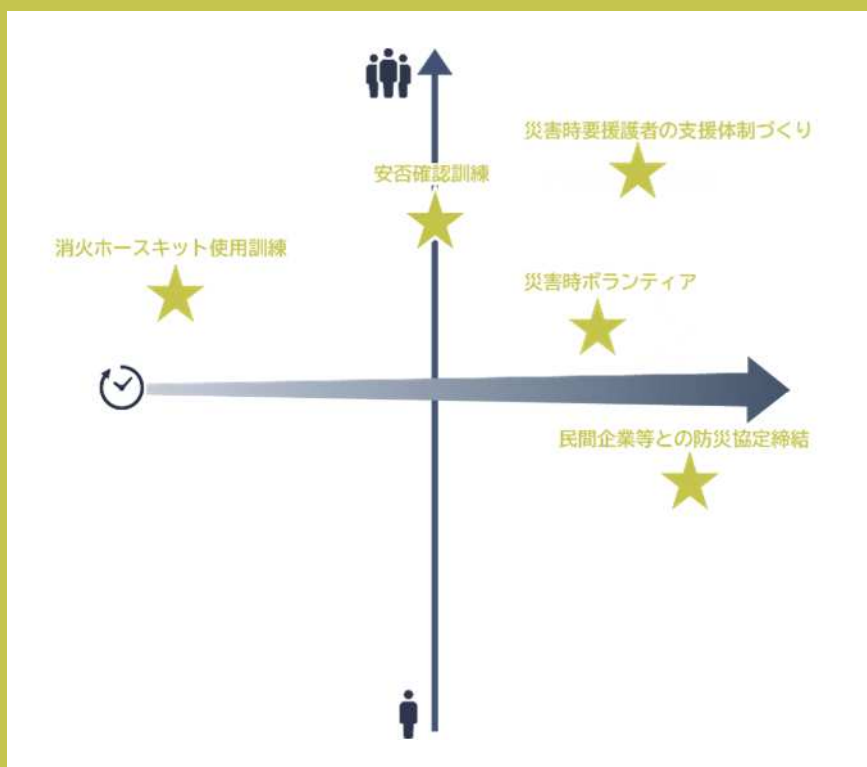




3 災害対応の体制を整える

災害時にはやらなければならないことがたくさんあります。誰が何をどのようにするのか、平時のうちから考えて決めておくことで、いざという時に的確に行動することができます。

- 事例9 安否確認訓練
- 事例10 災害時要援護者の支援体制づくり
- 事例11 災害時ボランティア
- 事例12 消火ホースキット使用訓練
- 事例13 民間企業等との防災協定締結



事例9 安否確認訓練

取組内容と実施方法

概要

無事を知らせる黄色いタオルなどの目印を町会加入者に配布し、災害時には玄関先に掲げて隣近所での助け合いを促す仕組みをつくり、指定の日に実際に目印を掲げてもらう訓練を行う。自宅にいながら参加できる訓練であるため、普段町会活動に馴染みのない方も参加しやすい。



実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★★☆

対象者:町会役員、町会加入者 など

主な必要資料(P38~39 参考)

目印(黄色いタオルなど)/訓練周知チラシ など



実施後における主な取組事例

- 災害時要援護者の支援体制づくり(P16)
- イベント型防災訓練(P21)など既存の防災活動と合同実施

実施のポイント

1 対象範囲は無理をせず

- 初回は50世帯程度を対象に行くと継続しやすいです。参加にお声がけしやすい班の方から構いません。購入する目印は世帯数や予算の条件に応じて、町会全体で一括購入、対象班のみ購入、町会加入・非加入など対象の数量を考えましょう。

2 事前と直前の周知

- 事前周知として、目印の配布と合わせて訓練実施をお知らせしましょう。また、対象班のみで構いませんので必ず訓練の直前(1週間程度前)にもう一度訓練の周知を行いましょう。



3 当日は班長さんを中心に進めましょう

- いざという時、会長や町会役員の方が居なくても、ご近所どうし安否確認し合えるようにしましょう。訓練を通じて、見守り合う関係性を作っていきましょう。

事例 10 災害時要援護者の支援体制づくり

取組内容と実施方法

概要

「川崎市災害時要援護者避難支援制度」に登録されている方に対し、民生委員と協力しながら、訪問や意見交換を通して町会にできることを考え、支援体制づくりを行う。



実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★★☆

対象者:町会役員、町会加入者、民生委員 など

主な必要資料(P40 参考)

訪問のお知らせチラシ/訪問時に話すことの例/訪問台帳/担当者用しおり など

実施後における主な取組事例

- 安否確認訓練(P15)
- イベント型防災訓練(P21)など既存の防災活動と合同実施

実施のポイント

1 まずは訪問をしてみる

- 個人情報は会館から持ち出さないなど町会内でルールを作り、民生委員と協力しながら担当を割り振り、支援対象者へ訪問チラシを配布します。

2 町会としてできることを伝える

- 発災時は支援する側も被災者という立場になります。支援対象者に対し、自分や家族の安全を優先した上で、できる範囲での支援になることを伝えましょう。
- 避難する際に電話をして欲しい、地域のイベント情報を教えて欲しいなど、対象者の方によって必要なことは様々です。町会のできる範囲でこういった支援が必要か具体的に聞いてみましょう。

3 訪問結果を共有する

- 訪問結果を共有し、支援対象者の状況や支援して欲しいことの整理を行います。区役所やケアマネジャーとも共有し、無理のない範囲で、継続的に地域で見守りができるよう体制づくりを行います。



事例 11 災害時ボランティア

取組内容と実施方法

概要

いざという時に住民同士が地域の状況を共有し、できる人ができる範囲で支え合える仕組みとして、「災害時ボランティア」を募集します。

実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★★☆

対象者:町会加入者 など

主な必要資料(P41~42参考)

募集チラシ など

実施後における主な取組事例

- マイタイムライン【地震編】【水害編】(P6,7)
- 防災倉庫の棚卸(P13)
- イベント型防災訓練(P21)



実施のポイント

1 活動に興味のある方を把握する

- 回覧などで登録者を募集しましょう。Web フォームなどを使い、気軽に申し込みができるようにするとお良いでしょう。「災害時は何か手伝いたい」と思っている方は意外と多くいるかもしれません。
- 募集の際には、災害時はまずは自分や家族の安全を確保した上で協力してもらいたいということをしっかりと伝えましょう。

2 平常時の負担はなるべく少なく

- あくまでも災害時のボランティアです。多くの方にも登録してもらえよう、集まりは年に1~2回など、なるべく平常時の負担は減らしましょう。

3 救命講習などの受講をサポートしてスキルアップ

- 希望者に市民救命士養成講座の受講を町会がサポートし、いざというときに備えてスキルアップしましょう。



事例 12 消火ホースキット使用訓練

取組内容と実施方法

概要

消火ホースキットを使って、設置体験、手順の確認、火災時の意識啓発などを行い、ご近所どうしでの初期消火の成功につなげる。

実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★★☆

対象者:町会役員、町会加入者 など

主な必要資料

取組周知チラシ など



実施後における主な取組事例

- 消火ホースキットの位置や使い方の周知・啓発
- 定期的な小規模防災訓練の実施

実施のポイント

1 消火ホースキット設置場所周辺にお住まいの方にお声がけする

- 火災時に役員の方が設置場所まで駆けつけて消火活動を行うのは困難です。消火ホースキット設置場所の近隣にお住まいの方をはじめとして、様々な方に訓練参加を呼びかけ、使用方法を体験しホースキットを使用できる方を増やすことで、燃え広がりなどの被害を防ぐことにつながります。
- 普段町会活動に馴染みのない方も、訓練への参加が顔の見える関係づくりのきっかけにつながります。



2 定期的な訓練が必要

- 半年に1回程度、定期的な訓練を行うようにしましょう。繰り返し行うことにより少しずつ定着し、災害時のスムーズな活用にもつながります。
- 特に空気が乾燥する秋や冬ごろは、火災が起こりやすい季節です。普段の生活で起こりうる火事の原因を紹介するなど防災の意識啓発と合わせて、訓練を実施するとより効果的でしょう。

事例 13 民間企業等との防災協定締結

取組内容と実施方法

概要

福祉施設など地域の団体と災害時にお互いが助け合えるよう防災協定の締結を行う。

実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★★★

対象者:町会役員 など



主な必要資料(P43参考)

協定書 など

実施後における主な取組事例

- 防災協定を締結した福祉施設と定期的に防災訓練(P21)を実施

実施のポイント

1 協定先を検討する

- 市で公表している防災協力事業所リストなどを参考に、協定先の検討を行きましょう。

2 災害についての懸念点や協力できることを共有する

- 災害についてお互いの懸念点や助け合えることを共有しましょう。決定した内容を協定書に反映し、防災協定締結を行います。



3 災害時だけでなく、普段から顔の見える関係づくり

- 災害時に助け合えるよう、普段から顔の見える関係性をつくるのが大切です。町会で定期的に実施する防災訓練などを協定先にも周知し、参加してもらうなど継続的な関係づくりを行きましょう。



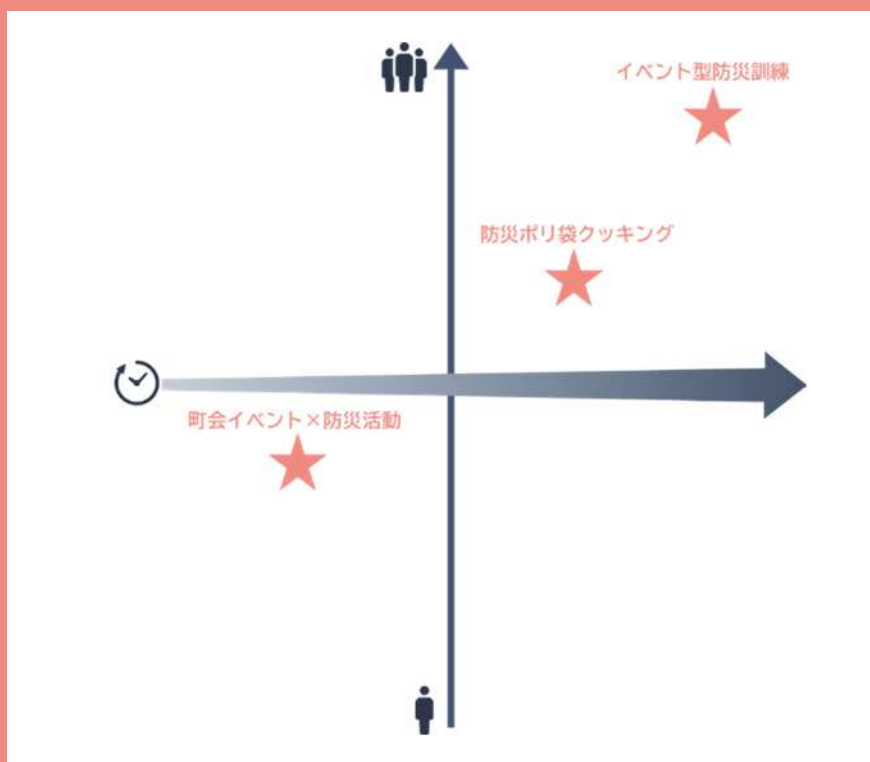
4 地域の中で連携する

まちの中の団体や施設など、普段の活動の中で連携することによって、多くの方を巻き込みより活動が効果的になるだけでなく、災害時も助け合える関係につながります。

事例 14 イベント型防災訓練

事例 15 防災ポリ袋クッキング

事例 16 町会イベント×防災活動



事例 14 イベント型防災訓練

取組内容と実施方法

概要

幅広い世代の方に参加してもらえるよう、起震車や水消火器訓練などの一般的な訓練メニューに、子どもも大人も楽しみながら参加できるようなブースを追加して実施する。



実施時期など

時期:年度末(企画に時間がかかるため)

取組難易度:★★★

対象者:町会役員 町会加入者 学校関係者 など

主な必要資料(P44参考)

開催周知チラシ/スタンプラリーシート など



実施後における主な取組事例

- 防災用品の共同購入(P8)
- 防災まち歩き(P11)
- 災害時要援護者の支援体制づくり(P16)
- 消火ホースキット使用訓練(P18)

実施のポイント

1 既存の防災訓練に少しプラスする

- 紙食器づくりやゴミ袋ポンチョ、カラフル防災ランタンなどの身近なものを使った防災工作、避難所までのスタンプラリーなど実際に手を動かしながら学べるものは、より多くの方に楽しんでもらいやすいです。
- 非常食の試食などの食べ物に関するブースを設置すると人が集まりやすいです。

2 地域の団体と連携しながら進める

- 地域の子ども会や青年部、老人会、商店街、近隣の学校とも連携しながら進めていきましょう。特にイベント開催の周知などは、子ども会や青年部と連携しながら、近隣の学校への周知に力を入れると効果的です。



事例 15 防災ポリ袋クッキング

取組内容と実施方法

概要

ポリ袋調理方法を使ったクッキングイベントを開催し、幅広い年代の方に共通する『食』という切り口で、町会活動に参加するきっかけを作る。

実施時期など

時期:いつでも

取組難易度:★★☆

対象者:誰でも



主な必要資料

開催周知チラシ/レシピ など

※事務局資料として、タイムスケジュール・必要備品一覧などを整理しましょう。

実施後における主な取組事例

- 対象(町会役員、親子、現役世代、女性、男性など)やメニューを変更して再度実施
- イベント型防災訓練(P21)に合わせて実施

実施のポイント

1 参加募集の方法や声掛けを幅広く行う

- 回覧板や掲示板だけでなく、青年部やこども会とも協力し、なるべく広く周知しましょう。学校の長期休みに合わせて開催すると参加者も集まりやすいです。
- Web フォームなどを使い、気軽に申し込みができるようにすると良いでしょう。

2 料理が好き・得意な方を中心に進める

- 一部に負担が偏らないよう、料理が好きな方、得意な方を中心に協力を依頼しましょう。役員に限定せずに参加を呼びかけると、地域の人材発掘にもつながります。



3 参加者に他の町会活動も紹介する

- 直近の町会イベントや普段の町会活動も合わせて紹介しましょう。幅広い世代の方が参加し、直接周知ができる絶好の機会です。
- 内容を限定せず、町会が興味のあることや運営しやすい内容で定期的にイベントを開催し、地域に対し参加のきっかけづくりを継続的に行っていくことが大切です。

事例 16 町会イベント×防災活動

取組内容と実施方法

概要

お祭りや運動会などの町会イベントの中で防災に関連する企画を実施し、町会の負担は少なく、普段防災活動に参加していない人が防災意識を持つきっかけをつくる。

実施時期など

時期:いつでも(町会のイベントに合わせて)

取組難易度:★☆☆

対象者:町会イベントの参加者

主な必要資料(P45 参考)

防災啓発ニュースレター/市防災広報物/シール投票パネル など

実施後における主な取組事例

- ・マイタイムライン【地震編】【水害編】(P6, 7)
- ・イベント型防災訓練(P21)



実施のポイント

1 防災関連資料の配布

- 資料を置いておくだけではなかなか手に取ってもらえません。イベントの参加賞などと一緒に「防災の資料です」と声掛けをしながら渡すと効果的です。
- 空気が乾燥する冬の時期には、火災に関する啓発資料を、雨が多い時期には、水害に関する啓発資料を配布すると効果的です。

2 イベントにあわせて実施内容を検討

- お祭りでは防災クイズ、運動会では担架リレーやバケツリレー、お餅つきでは非常食の試食など、イベントにあわせて実施内容を検討しましょう。

3 地域の関心事を調査

- 地域の関心事の調査をシール投票形式で行うと、楽しみながら投票してもらえます。
- 集計結果は回覧などで周知するとともに、次の実施内容の検討に活用しましょう。

かりがね台自治会
防災NEWS 令和7年8月発行

7月19日に実施した総会で、防災に関する情報を発信し、今後も、多くの方が参加するイベントでの機会を捉えて防災に関する啓発を実施していきます。

表面にも防災に関する情報がありません!

配布資料

総会でシール投票を実施!

防災グッズでは、実用リスクなどの共有やシール投票を行いました。投票結果を参考に、今後の取組を考えたいです。

質問】 災害時に役に立ちそうだと思うものはどれ?

質問】 どの活動に参加したい?

「ペットボトルランタン」が最も多い結果となりました。

「防災クッキング」が最も多い結果となりました。

各種防災関連資料を貸し出し、自治会に在庫がありますので、お気軽にお声かけください。
また、多摩区役所や生田公民館にて配布してあります。

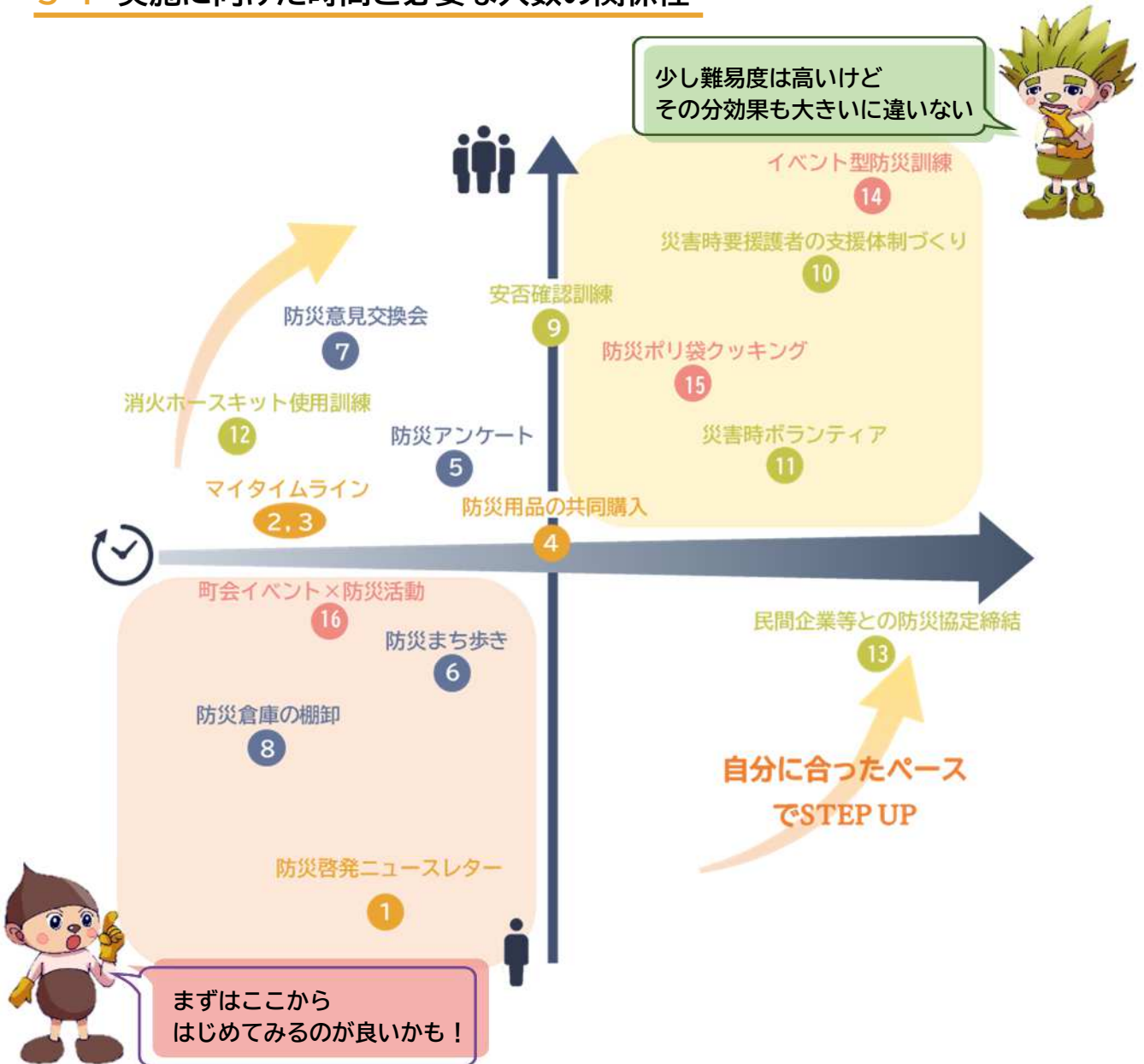
問合せ先
かりがね台自治会 庶務 藤沢 氏



5 参考

- 1 実施に向けた時間と必要な人数の関係性
- 2 よくある質問 Q&A
- 3 取組参考資料
- 4 町会別取組一覧(R7年度末時点)

5-1 実施に向けた時間と必要な人数の関係性



いがぼう

さいがいに対する備えはせず、基本的にぼうっとしているが、好物の甘栗だけはローリングストックしている。モチーフは「いが栗」。



くり防

災害が起こる前の備えが大事だと感じ、防災まちづくりに向けた取組を自分なりに行っている。モチーフは「栗」。



5-2 よくある質問 Q&A

防災まちづくりの取組を進めるにあたり、町会の皆さんから寄せられた活動に関する質問や不安なことを例としてご紹介します。自分の地域に当てはまる項目があれば、ぜひ参考にしてください。

Q 防災活動に力を入れたいけど何から始めれば良いか分からない…

A まずは地域や町会の現状確認から始めてみるのはいかがでしょうか。

- 『防災倉庫の棚卸』(P13)は、町会の備蓄状況を確認し、今後何を購入する必要があるのか、地域で話し合ってみるきっかけにつながります。
- 『防災まち歩き』(P11)を防犯パトロールとあわせて実施するのもよいでしょう。

Q 防災訓練の参加者をもっと増やしたい…

A 例年の内容に少しプラスして、新しいメニューを行うのはいかがでしょうか。

- 『イベント型防災訓練』(P21)では地域の防災資源を見て回るスタンプラリーや災害用ランタンづくりなど子どもも楽しめるメニューを追加して実施しています。
- その他に、『防災用品の共同購入』(P8)もおすすめです。

Q 防災活動を始めたいけれどハードルが高く始めにくい…

A 既存の町内会のイベントに防災要素を加えるのはいかがでしょうか。

- 『町会イベント×防災活動』(P23)では、既存の町会イベントに防災ブースを設けています。元々人が集まる場で実施することで、多くの方に啓発できたり防災に関心が高くない方にも気軽に参加してもらえたりします。防災だけだとなかなか人が集まりづらい、という課題も解決できます。

Q 災害が起きたときの自分の避難行動に自信がない…

A 災害なのでどんな避難行動でも一概に正解とは言い切れませんが、まずはご自宅や地域の災害リスクを確認する必要があります。

- 『マイタイムライン【地震編】【水害編】』(P6,7)では、ご自宅や地域の災害リスクの確認に加え、自分に合った避難方法や避難先までの安全な避難ルートを作成することができます。

Q 普段、自宅では何を備蓄しておけば良いのか

A 食料や水だけでなく、避難生活を送る上で必要となるものは意外と多くあります。

- 『マイタイムライン【地震編】【水害編】』の用紙(P6,7)には、避難するにあたり準備しておくもののチェックリストが記載されています。リストを基準とし、それぞれのご家庭で必要なものを追記、確認しておきましょう。
- また、見落としがちなのがトイレに関する備蓄です。被災地の避難所では衛生環境などからトイレ問題は深刻化しています。『防災用品の共同購入』(P8)を実施して地域全体に備蓄や自助を促すのも効果的です。

5-3 取組参考資料


● 事例1 防災啓発ニュースレター

【地震関連】

●●町内会 防災まちづくり新聞 地震編

大地震が起こると熱器具の転倒や電気配線の損傷等で火災が発生しやすくなると同時に、消防車が来れない、断水で消火器が使えないなどで消火が困難になり、普段よりも延焼する危険性が高くなります。川崎市は地震被害想定調査では、●●地区は木造住宅が密集していることから、火災が広範囲に延焼する「リスクが高い」「大規模延焼クラスター」に指定されています。

関東では一定間隔で何度も巨大地震が起こっており、国の調査では今後30年以内に70%の確率で首都直下地震が発生すると言われています。本誌で地震と火災の対策をまとめてお知らせしますので、ぜひご覧ください。



●●地区周辺の大規模延焼クラスター


ピンクの部分で1か所でも火災が起こると、消火できなかった場合ピンク全体に燃え広がってしまう恐れがあるとされています。
1か所の火災が1000棟以上に延焼する恐れがある区域が大規模延焼クラスターとしてピンク化されています。

「ガイドマップかわさき」
 ⇒「かわさきハザードマップ」
 ⇒「地震・水害・土砂災害」
 ⇒「レイア切替」から「建物クラスター分布」を選び、
 町会周辺地図をスクリーンショットして
 このページに張り付けましょう！

地震火災の原因、ご存じですか？ 電気配線に要注意！

地震時はストップ等が転倒するほか、アイロンなどの熱器具の電源が入ったままだったことに気づかず停電が復旧して通電した際に近くの物を過熱し出火したり、揺れによって電気配線が損傷することで発火したりと、火災の危険が高まります。令和6年元日の輪島市の火災も電気配線が原因である可能性が高いと言われています。

- 停電中は電気機器のスイッチを切るとともに電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
- 大きな揺れの後は屋内外の配線等の状態を確認しましょう。
- 避難等で家を離れる際はブレーカーを落としましょう
- 地震時に自動で落ちる「感震ブレーカー」の設置も有効です。



●●町内会 裏面へ続きます→

消火器、備えていますか？ 初期消火が最重要！

- 火災を防ぐためには初期消火がとても重要です。各家庭で消火器を備え、使い方を確認しておきましょう。価格は4千円台からあります。
- 住宅用消火器には使用期限(主に5年)が定められています。定期的に交換して、古い消火器は業者に引き取ってもらいましょう。
- マンションでは廊下等の共用部に消火器が設置されている場合が多いので、場所を確認しておきましょう。



あなたの家はいつ建てられた？ 古い住宅は耐震診断を！

● 昭和56年(1981年)5月31日以前に建てられた住宅は、旧耐震基準で建てられていることから、特に地震に弱いと言われています。

● また、新耐震基準でも、平成12年(2000年)5月以前に建てられた住宅も、地震に弱いと言われています。

● 上記の時期に建てられた木造住宅にお住まいの方は、市の制度を使えば無料で耐震診断ができます。まずは地震で倒壊しないか診断してもらいましょう。

無料耐震診断の詳細は川崎市防災まちづくり推進課 (TEL: 044-200-3017) または上のQRコードへ

● 診断の結果、耐震性が低いことが分かった場合は補修工事を行いましょう。川崎市では旧耐震基準等の建物の耐震改修工事の費用の一部を補助しています。

参考：2024年能登半島地震における木造建築物の建築時期別の被害状況(%)

旧耐震基準(～1981)		新耐震基準(1981～2000)		新耐震基準(2000～)	
延焼	被害	延焼	被害	延焼	被害
18.4	19.4	10.0	10.0	1.0	1.0



部屋の中は安全ですか？ 家具を固定して転倒防止！

- 地震時は、家具の転倒や落下で負傷する恐れがあります。家具を固定して転倒を防ぐとともに、高い場所に重い物を置くのは控えましょう。
- 家具の固定は金具でのネジ止めが基本です。突っ張り棒はそれができない時のやむを得ない方法と考えましょう。
- 他にも開閉する食器棚にはストッパーをつける、重ねている棚は連結器具で固定する、ガラスには飛散防止フィルムを貼るなど、様々な対策があります。
- 高齢者又は障害者のみの世帯で固定器具の取付が困難な場合には、市の取付支援制度があります。



阪神淡路大震災での負傷原因
 そのうち約15%が家具等の転倒落下
 ガラスの破片が46%
 家具等の転倒落下が約半数を占める！

Be Safety. Be Happy.

【水害関連】

●●町内会 防災まちづくり新聞 水害編

●●地区は多摩川に隣接しており、水害のリスクがある地域です。ただし、水害は突然起こる地震と違い、天気予報や河川の水位等である程度予測できるため情報の意味を正しく理解して事前に対策することで、被害を防ぐことが出来ます。本誌で水害に関する主要な情報をまとめてお知らせしますので、ぜひご覧ください。

水害の基礎知識

- 水害は下の図のように内水氾濫と洪水の2種類があります。
- 令和元年台風19号の時に川崎市内で起こった浸水は内水氾濫です。
- 洪水は河川整備が進んだことにより川崎市周辺でははばらく起こっていませんが、温暖化の影響等により全国的に豪雨災害が増加しており、多摩川等もいつまた洪水が起こるかわかりません。
- あらかじめハザードマップで自宅の水害リスクと避難の必要有無を確認しておき、避難の必要がある人は大雨になったら市が発する「避難情報」を随時確認するようにしましょう。

内水氾濫

大雨により雨水が溜まり、排水できず下水道や貯溝等から水が溢れるもの

洪水

河川の水位が高くなる、堤防が決壊するなどして川の水が溢れてくるもの



【避難情報(警戒レベル)】

洪水又は土砂災害のおそれがある区域には右表のとおり段階的に避難情報が発令されます。避難が必要な方は随時情報を確認し、自身や家族の状況に応じてレベル5になる前に避難しましょう。

避難情報	状況	懸念
Lv.5 緊急安全確保	災害発生又は切迫	命の危険、直ちに安全確保
Lv.4 避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
Lv.3 高齢者等避難	災害のおそれあり	時間がかかる方は避難指示

【避難情報の確認方法】

避難情報は町丁目単位で出ますので、全国ニュースでは自分の地域が対象かわかりません。大雨時はインターネットやテレビのデータ放送等で避難情報を確認するようにしましょう。

①かわさき防災アプリ



②川崎市防災ポータルサイト



③テレビのデータ放送(NHK/TVK)

リモコンの「ボタン」を押すとデータ放送画面が出ます。NHKの場合は「防災・生活情報」、TVKの場合は「マイタウン情報」を選択すると災害関連情報に進むことができます。
※テレビの放送画面で地域を指定しておく必要があります。

④かわさきFM

周波数: 79.1MHz
 災害時には災害関連情報を放送します。

●●町内会

状況に応じた浸水対策

浸水の状況によってはちよつとした対策で被害を防げる場合もあります

土のう袋/ゴミ袋による簡易水のう

ホームセンターなどに売っている土のう袋に土や砂を詰め、玄関先等にレンガのように積み上げて使用します。軽い場合はゴミ袋による簡易水のうもあります。

下水逆流対策


水害時は下水が逆流してトイレやお風呂から水が吹き上がることがあります。簡易水のうで重しすると抑える効果があります。



通電火災に要注意！

「通電火災」とは、停電から電気が復旧する時に発生する火災のことをいいます。電気ストーブやアイロンなどの電気機器の電源が入ったまま再通電したことにより接していた可燃物を過熱し出火するほか、水害時は水漏れによる電気配線のショートやトラッキング、漏電等によっても発生します。

- 停電中は電気機器のスイッチを切るとともに電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- 避難等で家を離れる際はブレーカーを落としましょう
- 風水害の後は屋内外の配線等の状態を確認しましょう。
- 水没した電気機器は乾燥させても出火の危険があります。



水害も地震も各自の備蓄が重要！

- 災害時は電気・ガス・水道、物流が止まり、避難所の物資にも限りがあるため、各自で食料や水、災害用トイレを備蓄しておきましょう。
- 最低でも3日分、できれば7日分の備蓄が望ましいとされています。
- 災害発生時に慌てないよう、あらかじめ非常時の持出しリュック等を用意し、下の表を参考に非常食や防災用品を入れておきましょう。

水・食料	□ 飲料水 □ 携行食・非常食(ビスケット・缶詰など)
医療衛生	□ つむぎ服用している薬 □ 救急医療品 □ 生理用品
貴重品	□ 現金 □ 印鑑 □ 健康保険証・預金通帳(コピー可)
安全対策	□ ヘルメット・防災ずきん □ 厚底の靴 □ 軍手
道具類	□ 携帯電話・充電器 □ 携帯ラジオ □ 懐中電灯 □ 電池 □ 時計 □ 携帯カイロ □ ロープ □ ライター・マッチ □ ナイフ □ 缶切り □ 入れ歯・眼鏡など
衣類	□ 上着(防寒着) □ 下着・靴下 □ 携帯レインコート
生活用品	□ ウエットティッシュ・ティッシュ □ タオル □ ごみ袋・ポリ袋

上記はあくまで一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。

- ✓ 乳幼児のいる家庭では液体ミルク、離乳食、オムツや哺乳瓶が必要。
- ✓ ペットを避難所に連れていく場合は、ペットケージが必須です。

● 事例2 マイタイムライン（地震編）
【地震マイタイムライン作成方法説明シート】

●●町内会

地震版マイ・タイムライン マイ避難ルートをつくろう！

知っていますか？地震火災のリスク

大規模な地震後に火災が発生して、建物の倒壊などで消防活動ができないと、多くの建物に燃え広がる恐れがあります。

写真出典：「埼玉県大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」資料

令和6年能登半島地震で起きた大規模な火災

マイ・タイムライン、マイ避難ルートとは…

地震版マイ・タイムラインとは

地震が起きた時に備えて、自分や家族が「いつ」「どう」行動するのかあらかじめ考えておくための、皆さん一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)です。

地震版マイ避難ルートとは

自宅の倒壊や周辺の火災等により避難が必要な時のため、避難先や、できるだけ安全な避難ルートを考えておくためのマップです。

地震が起きたらまず身の安全を守ってその後は…

火事が起きていたらどこに逃げればいいのか？

お父さんが仕事に行ったらどうなるの？

近所の道は狭いけど大丈夫なのかな？

避難について考えることは、自分と大切な人の命を守ることに繋がります。

家族や隣近所の人と話しあって、マイ・タイムライン、マイ避難ルートをつくってみよう！

今回お配りするもの

1枚目(この用紙)
裏面にマイ・タイムライン、マイ避難ルートの作り方を解説しています。

2枚目は、記入例です。赤い文字で、とある3人家族の場合を例示しています。

3枚目が、自宅用です。2枚目を参考に自宅の場合を考えて、マイ・タイムライン、マイ避難ルートをつくってみよう！

完成したら、いつでも見られる所に貼っておこう！

地震版マイ・タイムラインの作り方

日頃の備えや地震発生後の避難の流れを確認し、自分に必要な準備を書き足しましょう。

異変や夜間の変換がある場所や帰ってくるまでかかりそうな時間などを書きとめておきましょう。

災害時の家族の集合場所と約束を書きとめておきましょう。

小杉|屋町二丁目町内会 地震版マイ・タイムライン 記入例

避難時の持ち出し品や、在宅避難に備えた貴重品をチェックリストで確認しましょう。

災害用伝言ダイヤル等の使い方を確認します。

中原区の防災マップはこちらで見ることができます

PC・スマートフォンからの閲覧
<https://portal.kikikani.city.kawasaki.jp/hazardmap/hazardmap.html>

紙面の配布場所
中原区役所 危機管理担当
中原区小杉町3-245

地震版マイ避難ルートの作り方

まず避難のスタート地点となる**自宅の場所**を、右側のマップに**赤ペン**など目立つ色で☆印をつけましょう。

マップを見て、広域避難場所や避難所、一時避難場所になりそうな場所がどこにあるか確認し、空欄に記入しましょう。
広域避難場所 等々力緑地や多摩川河川敷
避難所 小杉陣屋町二丁目百九子小学校が指定されています
一時避難場所 近くの公園や空き地、グラウンドなど

小杉|屋町二丁目町内会 地震版マイ避難ルート 記入例

広域避難場所 まで避難する場合と、**避難所** まで避難する場合の避難ルートをマップに書きこみましょう。

書き込んだルートで避難場所までかかる時間や気をつけたいことを書きとめておきましょう。

避難ルートを実際に歩いてみましょう

老朽化した空き家やブロック塀、自動販売機など倒れてきそうなものはないか、固いような行き止まり路はないかなど、書き込んだルートを歩いて点検してみることもおすすめです。

【地震マイタイムライン作成シート】

町内会 地震版マイ・タイムライン 作成日 年 月 日 **自宅用**

経過時間

私と家族の行動
マイタイムライン

日頃の備え	初期	避難準備	避難生活	家族の会合へ
<p>災害が起きる前に準備しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マイタイムラインを作成する <input type="checkbox"/> 家具の転倒・落下防止対策をする <input type="checkbox"/> 災害用伝言ダイヤル1717を利用する <input type="checkbox"/> 自宅の耐震性を確認しておく <input type="checkbox"/> 地震保険に加入しておく <input type="checkbox"/> 消火器の正しい向きを確認する 	<p>まずは自分の身を守ります</p> <ul style="list-style-type: none"> 頭を守り動かない 丈夫な机の下に避難 倒れてくるものに注意 <p>ひとまず揺れが落ち着いたら</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンロやストーブなど火の加減 <input type="checkbox"/> ドア、窓を開けて逃げ道確保 <input type="checkbox"/> 防災グッズを取り出す <input type="checkbox"/> 初期消火 	<p>自宅や周辺を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建物が倒れたり傾いたりしていないか <input type="checkbox"/> 火事はないか <p>隣近所で助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 救出救助 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 紙類支援 <p>一時避難場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 近くの公園、空き地など 	<p>災害の状況に応じて避難</p> <p>火災はないが自宅が倒壊のおそれがある場合</p> <p>大火災が起きている場合</p> <p>広域避難場所 大きな公園、緑地など</p> <p>自宅が安全</p> <p>自宅生活は困難</p>	<p>避難所</p> <p>市立小・中学校など</p> <p>家族や知人の家等への避難も 地図に入れておきましょう。</p> <p>自宅</p> <p>災害用伝言ダイヤル1717で 家族は情報を伝えます。</p>

1 家族の日中や夜間の居場所を書いておきましょう

いつ	家族氏名	家族がいる場所	連絡先	家族がいる場所の災害リスク	家族の集合場所 第1候補	集合場所までの距離と時間(徒歩)	集合場所までの災害リスク	備考・必需品など	家族の集合場所
日中	〇〇 〇〇	東京都港区〇〇 街●●		津波		1km 10分	津波が発生した場合、移動できなくなる		自宅や広場の災害リスクを考えて家族の集合場所を事前に決めておきましょう。
夜間	家族全員	自宅				1km 10分			自宅や広場の災害リスクを考えて家族の集合場所を事前に決めておきましょう。

2 家族の集合場所と約束事

第1候補

第2候補

第3候補

家族の約束事
(災害発生時の連絡方法や集合場所の指定など)

3 我が家の防災用品を確認しましょう

	非常持出品	在宅避難のための備蓄
食料	<input type="checkbox"/> 飲料水、 <input type="checkbox"/> 缶詰食品、 <input type="checkbox"/> 乾菜類	食料 <input type="checkbox"/> 飲料水 (1人3日以上の家族人数×7日分)、 <input type="checkbox"/> 食糧 (お米や乾菜、缶詰など) 3日分
医療・衛生	<input type="checkbox"/> 絆創膏、 <input type="checkbox"/> 救急薬品、 <input type="checkbox"/> 生理用品、 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ、 <input type="checkbox"/> 救急セット	トイレ <input type="checkbox"/> 簡易トイレ、 <input type="checkbox"/> トイレ用薬剤、 <input type="checkbox"/> 汚物処理機
清潔	<input type="checkbox"/> 洗剤、 <input type="checkbox"/> 除菌剤、 <input type="checkbox"/> 消毒薬	調理器具 <input type="checkbox"/> カセットコンロ、 <input type="checkbox"/> ポンペ、 <input type="checkbox"/> 鍋、 <input type="checkbox"/> 箸、 <input type="checkbox"/> 皿、 <input type="checkbox"/> 食器洗浄機
安全対策	<input type="checkbox"/> ヘルメット、 <input type="checkbox"/> 防災ずきん、 <input type="checkbox"/> 厚手の靴、 <input type="checkbox"/> 軍手	生活用品 <input type="checkbox"/> 新聞紙、 <input type="checkbox"/> ビニール袋、 <input type="checkbox"/> 風呂敷、 <input type="checkbox"/> 防災グッズ
衣類	<input type="checkbox"/> 防寒着、 <input type="checkbox"/> 下着、 <input type="checkbox"/> 靴下	その他 <input type="checkbox"/> 車のガソリンを満タンにしておく
通信機器	<input type="checkbox"/> 携帯電話、 <input type="checkbox"/> 充電器、 <input type="checkbox"/> 無線LAN、 <input type="checkbox"/> 無線LAN子機、 <input type="checkbox"/> 無線LANアクセサリ	
生活用品	<input type="checkbox"/> 防災グッズ、 <input type="checkbox"/> アルコール消毒液、 <input type="checkbox"/> マスク	
感染症対策	<input type="checkbox"/> 消毒液、 <input type="checkbox"/> アルコール消毒液、 <input type="checkbox"/> マスク	
その他	<input type="checkbox"/>	

4 無事を伝える伝言ダイヤルなどを活用しましょう

災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板「web171」は、災害時の安全確認に有効な方法です。もしもの場面に備え、利用方法を事前に確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル (171)	災害用伝言板 (web171)
<p>【録音方法】</p> <p>①②③に電話</p> <p>④を押す</p> <p>自分の電話番号を押す</p> <p>⑤を押して録音</p>	<p>【再生方法】</p> <p>①②③に電話</p> <p>④を押す</p> <p>家族等の電話番号を押す</p> <p>⑤を押して伝言を再生</p>

「web171」とは、被災地や被災者への支援活動や、被災地の状況などを伝えることができます。

町内会 地震版マイ避難ルート 自宅用

1 マップに自宅の★印をつけましょう

2 大地震の場合の避難の流れを確認しましょう

大地震の場合の避難の流れを確認し、空欄（一時避難場所、広域避難場所、避難所）に自宅から近い場所を書きましょう。

★火災はどこで発生するかわからないため、複数方向の広域避難場所を確認しておきましょう。

3 マップに避難ルートを書きましょう

広域避難場所に避難する場合と、避難所に避難する場合の避難ルートを右のマップに書き込みましょう。

安全な避難のポイント

- ★高い道は坂や崖などが崩れて通れない場合があります。低い道なるべく通らないルートを書きましょう。
- ★火災発生時は、火災とは反対方向にある広域避難場所に避難しましょう。

それぞれのルートの所要時間や、気をつけたいことを下の空欄に書きとめておきましょう。

広域避難場所までのルート ~周辺の火災が広がるおそれがある場合~		
大きな公園、緑地など	所要時間	気をつけたいこと
大きな公園、緑地など	所要時間	気をつけたいこと

避難所までのルート ~倒壊などにより自宅では生活が困難な場合~		
市立小・中学校など	所要時間	気をつけたいこと

「ガイドマップかわさき」⇒「防災マップ」⇒「避難所・防災施設」を選び、町会周辺地図をスクリーンショットしてこのページに張り付けましょう！

凡例

- 避難所
- 応急給水拠点
- 広域避難場所
- 避難所管轄区域
- 公園

● 事例3 マイタイムライン (水害編)

【水害マイタイムライン作成方法説明シート】

●●町内会 防災まちづくりNEWS番外編

大雨や台風に合わせてマイ・タイムラインをつくりましょう!

知っていますか? 避難情報 (警戒レベル)

避難情報 (警戒レベル) とは、災害が発生する恐れがある時に、気象庁や川崎市が、災害発生の危険度と住民がとるべき行動を5段階の警戒レベルで伝えるものです。大雨や台風の際は、命を守るため避難情報 (警戒レベル) に注意して、適切な避難行動をとります。

今回お配りしたマイ・タイムラインは、災害が起きた時に、自分や家族が「いつ」「どう行動するのか」をあらかじめ考えておくための、皆さん一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)です。「いざ」という時に慌てず適切に行動できるよう、ぜひ、ご活用ください。

警戒レベル	避難の情報	状況	とるべき行動
5	緊急安全確保	災害発生または切迫	命の危険にだちに安全確保
..... 警戒レベル4までに必ず避難!			
4	避難指示 (川崎市が発令)	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難 (川崎市が発令)	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難
2	大雨・洪水警報 (気象庁が発令)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報 (気象庁が発令)	気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める

災害情報の入手方法

避難情報 (警戒レベル) はこれらの方法で入手することができます。自分にあった入手方法を確認しておきましょう。

かわさき防災アプリ

災害情報をリアルタイムに受信でき、発令中の情報や避難所の開設状況などを知ることができます。

メールニュースかわさき

市内の防災、気象、災害等の情報を配信します。配信を希望する方はQRコードから登録をしてください。

テレビのデータ放送

リモコンのdボタンを押すとデータ放送画面が出ます。以下を選択すると災害関連情報に進むことができます。

NHKの国会「防災・生活情報」
テレビ神奈川の国会「マイタウン情報」

※テレビの設置場所で見逃す恐れがあります。

防災テレホンサービス

防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます。市内の一般の加入費、公費電話などからの場合は0120-910-174(通話料なし)

携帯電話、上記の番号にかけられない場合は044-245-8870(通話料あり)

マイ・タイムラインの作成方法

表面

ステップ①

自宅の水害リスクと避難のタイミングを確認しよう!

多摩川が氾濫した場合などのリスクを知り、フローに従って、どのタイミングで避難したら良いかを確認します。

裏面

レベル4で避難の場合は、この行に行動を書き込む

ステップ②

避難開始までの行動を考えよう!

ステップ①で確認した避難のタイミングまでの行動計画を考えます。一般的な項目は記載されていますので、1枚目の裏面の記入例を参考に、他に必要な行動を追加しましょう。

ステップ③

家族の連絡先や用意すべき防災用品を考えよう!

家族の連絡先等を記入します。防災用品のうちすでに用意できているものにはチェックを入れ、他に用意しておくべきものがあれば追加しましょう。

別紙で、ステップ②とステップ③の**記入例**を付けましたので、参考にしてください。

完成したら、いつでも見られる所に貼っておきましょう!

【水害マイタイムライン作成シート (記入例)】

記入例

洪水は突然起きるわけではなく段階を経て発生します。気象情報や避難情報を確認し、適切な避難行動をとることで被害を防ぐことができます。この記入例を参考に自分はいつどうするべきかを考え、いざという時に冷静に行動できるようにしておきましょう。

避難までの目安・時期	日ごろ	2~3日前	前日	半日前	数時間前	水害発生																																				
	雨風が強くなるまでに準備を済ませておく時期	状況に応じて避難行動を開始する時期				身の安全を確保する時期																																				
警戒レベル 避難情報	日ごろの準備	レベル1 早期注意情報 (気象庁が発令)	レベル2 大雨注意情報等 (気象庁が発令)	レベル3 高齢者等避難 (川崎市が発令)	レベル4 避難指示 (川崎市が発令)	警戒レベル5 緊急安全確保																																				
ステップ①で確認した避難のタイミング 【警戒レベル3で避難】避難に時間を要する方 【警戒レベル4で避難】速やかに避難できる方 【在宅避難 (垂直避難)】が可能な方	<input type="checkbox"/> 食料品・防災用品の備蓄 <input type="checkbox"/> 災害時の家族の連絡方法を決めておく <input type="checkbox"/> 避難場所、経路の確認 <input type="checkbox"/> ペットゲージの用意 <input type="checkbox"/> 近所の倒壊の危険 落ちるものがぶつかると壊れやすくなり水があふれやすくなります	<input type="checkbox"/> 食料品・防災用品の補充 <input type="checkbox"/> 非常持出品の準備 <input type="checkbox"/> 家族の予定や居場所の確認 <input type="checkbox"/> 小学校の対応を確認する(子ども) <input type="checkbox"/> 外にある飛ばされそうな物を屋内にしまう <input type="checkbox"/> 今後の台風の進路や雨量などを把握する	<input type="checkbox"/> 避難場所、経路の再確認 <input type="checkbox"/> 避難所の開設状況の確認 <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電 <input type="checkbox"/> 避難しやすい服装を準備する <input type="checkbox"/> 祖母の避難に備え親族に連絡 <input type="checkbox"/> 隣の〇〇さんに声をかける <input type="checkbox"/> 冷蔵庫の中の食品をなるべく消費する (停電等に備えます)	<input type="checkbox"/> 避難所等へ避難開始 <input type="checkbox"/> ブレーカーを落とす <input type="checkbox"/> ガスの元栓を閉める <input type="checkbox"/> 避難所の開設状況の確認 <input type="checkbox"/> 避難準備を進める <input type="checkbox"/> 家屋の浸水対策をする <input type="checkbox"/> 祖母を親族宅に連れていく <input type="checkbox"/> 垂直避難に備える(重要な物を2階に上げる) <input type="checkbox"/> 川崎市防災ポータルサイト等で避難情報を把握	<input type="checkbox"/> 避難所等へ避難開始 <input type="checkbox"/> ブレーカーを落とす <input type="checkbox"/> ガスの元栓を閉める <input type="checkbox"/> 自宅での垂直避難 <input type="checkbox"/> 水が出るうちに風呂桶に水をためる (水に浸って壊れる水を増殖してきます)	直ちに安全を確保! 命の危険! レベル4までに必ず避難する																																				
避難先	① 避難所 〇〇中学校	この地域では御等中学校が指定されていますが、いざという時は近くの避難所に避難しても大丈夫です。安全を優先して行きやすい避難所に避難しましょう。			② 事前避難できる場所 (親戚の家など) 〇〇親戚の家	早い段階で、浸水の危険がない場所に避難することが最も安全です。家族や知人の家など避難所以外の場所への避難も検討してください。																																				
家族などの連絡先等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>電話番号</th> <th>日中の居場所</th> <th>住所・備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>090-XXXX-XXXX</td> <td>職場</td> <td>職場: 東京都品川区品川0-0-0 03-XXXX-XXXX 〇〇の部を担当する</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>080-XXXX-XXXX</td> <td>職場</td> <td>職場: 川崎駅前子〇〇〇 02-XXXX-XXXX</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>090-XXXX-XXXX</td> <td>小学校</td> <td>学校連絡先: 044-XXXX-XXXX 川崎市では、風水害の場合は避難所にペットを連れていくことができます。ただしドッグランが必ずあります。地域の場合は必ず避難所が異なりますので事前に確認しておきましょう。</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇</td> <td>090-XXXX-XXXX</td> <td>自宅</td> <td>足が悪いため早めの避難</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇(猫)</td> <td></td> <td>居間</td> <td>ペットホテル〇〇〇 044-XXXX-XXXX</td> </tr> <tr> <td>親族</td> <td>090-XXXX-XXXX</td> <td>親戚宅</td> <td>住所: 川崎区川中島〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>隣の〇〇さん</td> <td>044-XXXX-XXXX</td> <td>自宅</td> <td>車いす利用 災害時は避難支援の要否を確認</td> </tr> <tr> <td>介護事業所△△</td> <td>044-XXXX-XXXX</td> <td></td> <td>祖母のヘルパー</td> </tr> </tbody> </table>						名前	電話番号	日中の居場所	住所・備考	〇〇〇	090-XXXX-XXXX	職場	職場: 東京都品川区品川0-0-0 03-XXXX-XXXX 〇〇の部を担当する	〇〇〇	080-XXXX-XXXX	職場	職場: 川崎駅前子〇〇〇 02-XXXX-XXXX	〇〇〇	090-XXXX-XXXX	小学校	学校連絡先: 044-XXXX-XXXX 川崎市では、風水害の場合は避難所にペットを連れていくことができます。ただしドッグランが必ずあります。地域の場合は必ず避難所が異なりますので事前に確認しておきましょう。	〇〇〇	090-XXXX-XXXX	自宅	足が悪いため早めの避難	〇〇〇(猫)		居間	ペットホテル〇〇〇 044-XXXX-XXXX	親族	090-XXXX-XXXX	親戚宅	住所: 川崎区川中島〇〇〇	隣の〇〇さん	044-XXXX-XXXX	自宅	車いす利用 災害時は避難支援の要否を確認	介護事業所△△	044-XXXX-XXXX		祖母のヘルパー
名前	電話番号	日中の居場所	住所・備考																																							
〇〇〇	090-XXXX-XXXX	職場	職場: 東京都品川区品川0-0-0 03-XXXX-XXXX 〇〇の部を担当する																																							
〇〇〇	080-XXXX-XXXX	職場	職場: 川崎駅前子〇〇〇 02-XXXX-XXXX																																							
〇〇〇	090-XXXX-XXXX	小学校	学校連絡先: 044-XXXX-XXXX 川崎市では、風水害の場合は避難所にペットを連れていくことができます。ただしドッグランが必ずあります。地域の場合は必ず避難所が異なりますので事前に確認しておきましょう。																																							
〇〇〇	090-XXXX-XXXX	自宅	足が悪いため早めの避難																																							
〇〇〇(猫)		居間	ペットホテル〇〇〇 044-XXXX-XXXX																																							
親族	090-XXXX-XXXX	親戚宅	住所: 川崎区川中島〇〇〇																																							
隣の〇〇さん	044-XXXX-XXXX	自宅	車いす利用 災害時は避難支援の要否を確認																																							
介護事業所△△	044-XXXX-XXXX		祖母のヘルパー																																							
用意すべき防災用品	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>災害前に準備、持ち出しリュック等に入れる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食料</td> <td>飲料水 既食食品・非常食</td> </tr> <tr> <td>医療衛生</td> <td>切開している薬 〇生理用品 〇歯ブラシ 〇ワットティッシュ 〇タオル 〇ごみ袋</td> </tr> <tr> <td>通信機</td> <td>携帯電話 〇充電器 〇携帯ラジオ 〇電池 〇充電中電灯 〇厚紙の巻 〇眼鏡</td> </tr> <tr> <td>衣類</td> <td>防寒着 〇靴下 〇防寒帽 〇防寒靴 〇レインコート 〇寝袋</td> </tr> <tr> <td>貴重品</td> <td>現金 〇印鑑 〇預金通帳 〇保険証</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>〇ペット用品</td> </tr> </tbody> </table>						区分	災害前に準備、持ち出しリュック等に入れる	食料	飲料水 既食食品・非常食	医療衛生	切開している薬 〇生理用品 〇歯ブラシ 〇ワットティッシュ 〇タオル 〇ごみ袋	通信機	携帯電話 〇充電器 〇携帯ラジオ 〇電池 〇充電中電灯 〇厚紙の巻 〇眼鏡	衣類	防寒着 〇靴下 〇防寒帽 〇防寒靴 〇レインコート 〇寝袋	貴重品	現金 〇印鑑 〇預金通帳 〇保険証	その他	〇ペット用品																						
区分	災害前に準備、持ち出しリュック等に入れる																																									
食料	飲料水 既食食品・非常食																																									
医療衛生	切開している薬 〇生理用品 〇歯ブラシ 〇ワットティッシュ 〇タオル 〇ごみ袋																																									
通信機	携帯電話 〇充電器 〇携帯ラジオ 〇電池 〇充電中電灯 〇厚紙の巻 〇眼鏡																																									
衣類	防寒着 〇靴下 〇防寒帽 〇防寒靴 〇レインコート 〇寝袋																																									
貴重品	現金 〇印鑑 〇預金通帳 〇保険証																																									
その他	〇ペット用品																																									

● 事例4 防災用品の共同購入

【共同購入応募チラシ】

●●町内会

簡易トイレの共同購入のご案内

■商品(販売業者:●●●●●)

簡易トイレ(●回分) ●●●●●円(税込)

■申込方法 申込期限:●月●日(●)まで

購入希望の方は、下部の申込用紙に申込数などを記入してください。

商品の受け渡しは■■■■で行う予定です。その際に代金を現金でお支払いください。

申込者へは後日、商品受け渡しの案内を送付いたします。



■商品サンプルの展示

●月●日(●)のイベントで商品サンプルを展示します。その場での申込みも可能です。

_____班 _____組

班長さんへお願い:●月●日(●)までに理事さんへこの申込書を渡してください。(記入がなくても)

理事さんへお願い:●月●日(●)までに●●会長にこの申込書を届けてください。(記入がなくても)

購入申込名簿		
お名前	住所・電話番号 ※アパート・マンションは部屋番号まで記入	簡易トイレ●回分 ●●●●●円(税込)
お名前: 記入例 川崎 太郎	住所:●●町1丁目1-1 電話:090 (0000) 0000	個
お名前:	住所: 電話: ()	個
お名前:	住所: 電話: ()	個
お名前:	住所: 電話: ()	個

●●町内会

簡易トイレ共同購入の商品受け渡しのご案内

■日時

●月●日(日)10~12時 雨天決行

■場所



受け渡しを
実施する場所
の地図

■当日ご持参いただくもの

代金 ※**現金のみ**となります。できるだけおつりが無いようにご準備ください

申込控え(本紙)

手提げ袋など

■問い合わせ先

●●町内会 会長 ●●
TEL ●●●●-●●●●-●●●●

※当日受け取りできなくなってしまう場合は、お早めにご
相談ください。

商品の写真

購入品

申 込 控 え

申 込 者 _____ 様

申込内容 ●●●●(税込み●●●●円)×__個

代 金 _____ 円

● 事例5 防災アンケート

【防災アンケート用紙】

●●町内会 地域防災活動のためのアンケート調査

アンケートご協力をお願い

●●町内会では、地域の防災力向上を図るための、防災まらぶりの取組を実施しています。取組をより良いものにしていくため、皆様のご意見や状況を把握したいと思っておりますので、お手数ですがアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

アンケート回答にあたってのお願い

アンケートの取り扱い
本アンケートは、●●町内会に加入されている方を対象とします。ぜひ気兼ねなく率直なご意見をお聞かせください。
調査の結果等は、今後進めていく防災活動の取組に活用させていただきます。また、アンケート結果は、町内会や町内会で実施予定のイベントなどで公表する予定です。

回答方法
用紙、又は Web のいずれかでご回答ください。

用紙の場合	このアンケート用紙を直接ご記入いただき、●●町内会館の郵便ポストに投函してください。	二次元 コード
Web の場合	スマートフォン等でこの二次元コードを読み込み、調査フォームにアクセスしてご回答ください。	

回答期限
令和●年●月●日(●)までに用紙、又は Web でのご回答をお願いいたします。

問い合わせ先
●●町内会 会長 ●●
TEL: _____

1/4

アンケート調査票

・該当する選択肢の番号に○をつけてください。
・その他を選ばれた場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
・(複数回答可) と記載されている設問は、該当するすべての選択肢の番号に○をつけてください。

I. あなたご自身や家族、住んでいる家のことについてお答えください

問 1 あなたの年齢を教えてください。(複数回答可)
① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代
⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

問 2 あなたは●●●●に任んでおおよそ何年になりますか。
① 3年以内 ② 4~9年 ③ 10~19年 ④ 20~29年 ⑤ 30~49年 ⑥ 50年以上

問 3 あなたが同居している人を教えてください。(複数回答可)
※あなたから見た関係で、前後(傍線)の欄にも含めてください。(例: 配偶者の場合は②に○)
① 配偶者 ② 親 ③ 子 ④ 孫 ⑤ 祖父母 ⑥ 兄弟姉妹
⑦ 一人暮らし ⑧ ペット(種類: _____) ⑨ その他(_____)

問 4 同居しているご家族(自身を含む)の中で、避難するときに支援(手伝い)が必要になる可能性がある方はいますか。(複数回答可)
① 特になし ② 足腰が弱い方 ③ 車いすの方 ④ 寝たきりの方
⑤ 病気で寝たきりの方 ⑥ 乳幼児 ⑦ その他(_____)

問 5 お住まいの住戸の形態を教えてください。
① マンション・共同住宅(自己所有) ② マンション・共同住宅(賃貸)
③ 戸建(自己所有) ④ 戸建(借家) ⑤ その他(_____)

問 6 共同住宅の方は自宅が所在している階数を、戸建の方は何階建てかを教えてください。
① 1階 ② 2階 ③ 3階以上

問 7 戸建の方にお尋ねします。ご自宅が建てられた時期等について教えてください。
① 2001(平成13)年以降 ② 1982(昭和57)年~2000(平成12)年の間
③ 1981(昭和56)年以前だが、耐震診断・工事等をして耐震性が確保されている
④ 1981(昭和56)年以前で、耐震性があるかわからない ⑤ 建築年不明

II. 災害に対する備え等についてお答えください

問 8 ●●町内会が起きたら大規模な火災騒動の恐れがあることを知っていますか。
① はい ② いいえ

問 9 ●●町内会(●●区)の水害ハザードマップを確認していますか。
① はい ② いいえ ③ マップは確認していないが水害リスクは知っている

2/4

問 10 大雨・台風など水害の際に、気象庁から発信される「警戒レベル」の意味や、どの警戒レベルが出たらどう行動すればよいかを把握していますか。
① はい ② いいえ

問 11 大きな災害が起きてあなたや家族が助けを必要としたとき、近所に頼れる人はいますか。
① はい ② いいえ ③ わからない

問 12 災害への対策として自宅に設置/備蓄しているものはありますか。(複数回答可)
① 3~6日分の非常食 ② 7日以上分の非常食 ③ 非常用飲料水
④ 非常用トイレ(排泄物処理剤) ⑤ 消火器 ⑥ 感震ブザー
⑦ 家具の転倒防止対策(固定器具等) ⑧ 浸水防止用の土のう袋 ⑨ 防災防犯ガラス
⑩ 窓ガラス飛散防止フィルムの貼付 ⑪ ソーラー充電器 ⑫ 特になし
⑬ その他(_____)

問 13 あなたやご家族は、災害時に自宅以外の場所へ避難しなければならぬ事態に備えてあらかじめ対策していることはありますか。(複数回答可)
① 避難場所の位置を確認している ② 避難場所までの経路を確認している
③ 避難訓練に参加している ④ 避難計画(マイタイムライン等)を作っている
⑤ 避難用品セットを準備している ⑥ 大雨時の避難情報の意味を把握している
⑦ 近所の人に支援を依頼している ⑧ 視覚等の要への避難を依頼している
⑨ 災害用伝言ダイヤル171又は伝言板サービスWEB171の存在を家族と共有している
⑩ 特になし ⑪ その他(_____)

問 14 次の中で見た/使用した/踏んだことがあるものはありますか。(複数回答可)
① 備える。かわらき(冊子) ② テレビのdボタンからの防災情報(データ放送)
③ 川崎市防災ポータルサイト ④ ガイドマップかわらき(Web版防災マップ)
⑤ かわらき防災アプリ ⑥ メールニュースかわらき
⑦ 防災テレホンサービス ⑧ どれも見ていない

問 15 消火器(訓練用の水消火器含む)を使ったことがありますか。
① 使ったことがある ② 使ったことはないが使い方は概ね把握している
③ 使ったことはないが使い方もよくわからない

問 16 災害時に身の回りで気になること・不安なことはありますか。(複数回答可)
① 老朽化した建物 ② ブロック塀 ③ 狭い路地や行き止まり ④ 避難経路
⑤ 避難生活(在宅避難含む) ⑥ ペットの避難 ⑦ 携行入手方法
⑧ 家賃の滞り ⑨ 家族や親戚等の災害確認 ⑩ 近所との協力
⑪ 町内会の防災体制 ⑫ 特になし ⑬ その他(_____)

問 17 大きな災害が起こった場合、あなたが協力できそうなことはありますか。(複数回答可)
① 近所の人の災害確認 ② 近所の人の避難支援 ③ 避難所での手伝い
④ 泥・がれき等の清掃 ⑤ 協力は難しい ⑥ その他(_____)

次のページにも設問がありますのでご回答をお願いします

3/4

III. 地域や町内会の活動等について教えてください

問 18 あなた又はご家族は●●町内会の活動に参加していますか。
① よく参加している (一問19(A)をお答えください)
② 時々参加している (一問19(A)をお答えください)
③ あまり参加できていない (一問19(A)と(B)をお答えください)
④ ほぼ参加していない (一問19(B)をお答えください)

問 19 問18で①②を選んだ方にお問します。(複数回答可)
参加している町内会の活動を教えてください。
① 講演会 ② 美化活動 ③ 小学生の見守り活動 ④ 単身夜間パトロール
⑤ 夏祭(神楽の演奏等) ⑥ 赤十字奉仕 ⑦ 赤い羽根共同奉仕
⑧ 市政だよりの配布 ⑨ 「敬老の日」記念品の配布 ⑩ その他(_____)

問 20 問18で③④を選んだ方にお問します。(複数回答可)
参加できない(しにくい)理由を教えてください。
① 仕事等で忙しい ② 距離のある活動があまりない ③ 開催情報が入らない
④ 体調等で参加が難しい ⑤ 人付き合いが悪い ⑥ 一人で行く人がいない
⑦ その他(_____)

問 21 町内会の連絡先として望ましいものはどれですか。(複数回答可)
① 町内会館 ② 町内の掲示板 ③ ウェブページ ④ メール ⑤ LINE
⑥ SNS(Facebook, X(旧Twitter)等) ⑦ その他(_____)

問 22 防災まらぶりの取組として、以下のような住民参加型のものがありますが、興味があるものはありますか。(複数回答可)
① 新しい防災訓練 ② 防災用品の配布(家庭用消火器、巻上り用消火器等)
③ 防災チェックシート ④ 防災まらぶる ⑤ 防災意見交換会
⑥ 防災情報村の使用体験 ⑦ 一人一人の避難ルート・避難計画作成講座
⑧ 防災意見書 ⑨ 防災講座・勉強会
⑩ 既等の行事での防災コーナーの出席 ⑪ 特になし
⑫ その他(_____)

その他、防災に関して町内会へのご意見、ご要望等あればご自由にお書きください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。
期限までに用紙又は Web でのご回答をお願いします。

4/4

● 事例6 防災まち歩き

【見るべきポイント】

防災まち歩き 見るべきポイント

防災まちづくりの課題

狭い道の写真

避難しにくい路地



倒壊のおそれのある塀や自販機

行き止まりの写真

行き止まり



老朽化した建物
空き家

防災まちづくりの資源



消火栓



防火水槽



防災倉庫



避難できる施設



避難所の案内表示



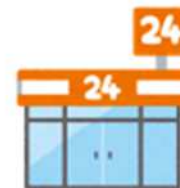
駐車場



公園や空き地



広い道路



コンビニ

● 事例7 防災意見交換会

【意見交換用シート】

●●●● 町会の防災カルテづくり	
<p>1 地域の防災・町会の体制</p> <p>○自宅の災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> - 被害状況や自分でやっている対策などはあるか - 家屋の被害を抑えるための対策について - 自宅避難を想定した対策として何ができるか - 自宅では備蓄、事前に準備しにくい物・事は何か <p>○避難所運営する際の町会内の体制・運営訓練の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> - 指定避難所(●●●●)での役割分担はできているか - 町会としての役割分担について - ボランティアの受け入れは考えられているか <p>○その他 ()</p> <p>(テーマ・キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 火災延焼・多摩川河川敷・多摩川洪水・内水氾濫・ - 地域の高低差・避難所(自分の避難先)・家屋倒壊氾濫区域 	<p>2 地域の備え</p> <p>○町会の備蓄状況と今後備えたいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> - 災害時に役立つ道具はあるのか(避難所内の倉庫でも可) - 町会にはこれほこの防災機材やグッズなどを貯蓄しているのか - 道具を揃える人はいいるのか - 町会として今後備えておきたい物はあるか <p>○防災倉庫と避難所の連携・拠点になりうる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> - 防災倉庫の設置状況について(仮設倉庫の備品の確認) - 今後必要と思われる備品、機材は何か - 防災倉庫・備蓄品・機材の点検や維持管理や役割分担も考える - 避難所以外に災害時役立つ施設、その使用方法について - この機材に活用していただきたいか <p>○その他 ()</p> <p>(テーマ・キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 備蓄物資・災害時の地域拠点・避難所運営訓練 - 公園での防災訓練・消火器や凝固剤などの共同購入 - ハブドマップの確認・消火ホースキット・緊急連絡先
<p>3 災害に合わせた避難場所・経路・方法</p> <p>○令和元年台風19号のとき、東日本大震災のとき自分はどの様に行動していたか</p> <ul style="list-style-type: none"> - 避難先の避難先 - このタイミングで避難した方が良かった、災害情報の取得について <p>○次に同じ災害があったら、どう行動すれば良いと思いますか?</p> <ul style="list-style-type: none"> - 1で聞いた自宅の災害対策を参考に事前にできることはあるか - 自宅避難の場合に必要なことは? - 大災害時の避難場所と避難経路を考える - 経路が混乱しないためにはこの様な対策が必要か <p>○その他 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> - アンケートで、町会にやってほしいこと、地域の方ができることを参照しておくこと <p>(テーマ・キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 避難所の様子・地域住民からの電話や連絡 - 当時の役員の行動・町内会館の利用・要援護者支援 - 泥掃き作業や清掃・漂流物の回収・公園の清掃 	<p>4 地域活動の状況</p> <p>○町会以外に地域で活動している団体や集まり 得意なこと、スキルを持った人など</p> <ul style="list-style-type: none"> - 協力、連携できることはあるか - キャンプなどアウトドアでの活動や宿泊の経験はあるか - SNSなどインターネットサービスを使うための知識を持つ方 <p>○普段の地域情報発信の手段、災害時の伝達手段</p> <ul style="list-style-type: none"> - 災害時の緊急連絡網やその構築の状況について - どんな情報伝達を望みますか、実現可能な(災害時と普段) - 防災情報等の伝達や緊急時の連絡網で関係者は何か - その改善案も考える <p>○その他 ()</p> <p>(テーマ・キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 小中学校の行事・PTA・青年部・老人会・民生児童委員・ - スポーツクラブ・青少年指導員・公園の清掃・地域住民からの電話や連絡・公園管理団体・地域の見回り など

● 事例8 防災倉庫の棚卸

【防災倉庫点検リスト】

● 町内会 防災倉庫点検リスト

点検日: 20 年 月 日 (点検者:)

手順① 倉庫内の賞検材を運び出す
 手順② テープがつかっているものについて、前回のリストと見比べながらリストを記入する
 テープがつかっていないものについて、青または緑のテープに番号を書いて貼り、リストに記入する
 手順③ 必要なものを倉庫に戻す
 手順④ 処分、買い替え、新規購入の検討をする

青テープ: 災害時すぐに取り出せるもの(機材、工具など)

№	品目	数量	使用期限 消費期限	使用可否 (O・x)	点検メモ・気づいた点
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

～点検するときのポイント～
 賞検材…正常に動作・通電するか／破損 やりかたはないか
 生活用品…包装の破れはないか／カビや汚れはないか／正常に動作するか
 食料・飲料…消費期限は残っているか／カビや異臭はないか／数は十分に足りているか

緑テープ: 避難生活が始まって必要になるもの(調理道具、消耗品など)

№	品目	数量	使用期限 消費期限	使用可否 (O・x)	点検メモ・気づいた点
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

● 事例9 安否確認訓練

【安否確認グッズ配布時のチラシ】

〇〇町内会のみなさまへ

大地震発生時の安否確認用 「無事ですカード」 をお配りします



【無事ですカードとは】

大きな地震が起こった場合、町会の役員がみなさんの安否確認に回ることとしています。

その際、無事な方には町会からお配りした「無事ですカード」を玄関の扉など外から見える所に掲げていただくことで、掲げていない家＝救助が必要な方がいる可能性がある家を早く見つけ出すことができます。

この度、〇〇町内会独自の「無事ですカード」を作成しましたので、震度6弱以上の地震が起こった場合は、玄関等への掲示にご協力いただきますよう何卒お願いいたします。

【訓練について】

お配りした「無事ですカード」の使い方を体験していただくために、安否確認の訓練を予定しております。

町内一斉での実施は難しいため、地区ごとに順番で開催していく予定です。詳細が決まり次第、対象地区の方にお知らせいたします。

問合せ 〇〇町内会 防災部長 ×× (TEL:044-XXX-XXXX)

〇班 班長 △△ (TEL:090-XXXX-XXXX)

〇〇町内会 〇班のみなさまへ

「無事ですカード」を使った 安否確認訓練を実施します

【実施日時】

〇月〇日()
△時～□時



【安否確認訓練とは】

大地震が起こった場合、町会の役員がみなさんの安否確認に回ることにしています。その際、無事な方には町会からお配りした「無事ですカード」を掲げていただくことで、救助が必要な方がいる家を早く見つけ出すことができます。

今回、いざという時に行動できるよう、無事ですカードの掲示と確認の訓練を実施したいと思いますので、みなさまにおかれましては掲示についてご協力いただきますようお願いいたします。

【訓練当日の流れ】

- ・ △時まで「無事ですカード」を玄関など外から見える所に掲げてください。
- ・ 上記の時間内に班長と町会役員が確認に回ります。
- ・ 確認した家には確認した旨のお知らせとアンケートを投函させていただきます。カードが掲げられていない家には、訓練として安否確認の訪問をさせていただきます。
- ・ □時になったらカードをしまってください ※雨天決行、荒天中止です

以上、お手数おかけしますがご協力のほど何卒お願いいたします。

カードをなくした方は、班長かお近くの町会役員へお知らせください

〇〇町内会 〇班 班長 ××

● 事例 10 要援護者支援の体制づくり

【訪問のお知らせチラシ】

様

災害時要援護者制度に登録された方へ
初回訪問のお知らせ ○○町内会

○○町内会では、災害時要援護者制度に登録された方それぞれへの支援体制の検討を進めています。

新しく登録された方について、まず民生委員と町内会役員で訪問して状況を確認させていただき、災害時を想定して、どういった時にどのような支援が必要になるかを一緒に考えていきたいと思います。

つきましては、下記の日程で担当者が訪問しますので、よろしくお願いたします。

訪問予定日時

月 日 () 時 分頃

担当：○○○○ (民生委員) 電話：090-XXXX-XXXX

(参考) 災害時要援護者支援制度の流れ

① 名簿登録の申込み

② 名簿の提供

③ 自宅訪問・支援方法の確認

④ 名簿登録の申込み

⑤ 名簿の提供

⑥ 名簿の提供

⑦ 名簿の提供

⑧ 名簿の提供

⑨ 名簿の提供

⑩ 名簿の提供

⑪ 名簿の提供

⑫ 名簿の提供

⑬ 名簿の提供

⑭ 名簿の提供

⑮ 名簿の提供

⑯ 名簿の提供

⑰ 名簿の提供

⑱ 名簿の提供

⑲ 名簿の提供

⑳ 名簿の提供

㉑ 名簿の提供

㉒ 名簿の提供

㉓ 名簿の提供

㉔ 名簿の提供

㉕ 名簿の提供

㉖ 名簿の提供

㉗ 名簿の提供

㉘ 名簿の提供

㉙ 名簿の提供

㉚ 名簿の提供

㉛ 名簿の提供

㉜ 名簿の提供

㉝ 名簿の提供

㉞ 名簿の提供

㉟ 名簿の提供

㊱ 名簿の提供

㊲ 名簿の提供

㊳ 名簿の提供

㊴ 名簿の提供

㊵ 名簿の提供

㊶ 名簿の提供

㊷ 名簿の提供

㊸ 名簿の提供

㊹ 名簿の提供

㊺ 名簿の提供

㊻ 名簿の提供

㊼ 名簿の提供

㊽ 名簿の提供

㊾ 名簿の提供

㊿ 名簿の提供

【訪問時に話すことの例】

話すことの例

■ お聞きすること

- 本人・家族等の状況について
- ・身体の具合はいかがですか。
- ・ご家族は一緒にお住まいですか。近くに親族はお住まいですか。

災害について

- ・いま、災害が起こったときに心配していることはありませんか。
- ・災害に備えて準備していることはありませんか。
- ・台風が近づいたとき、事前に親族の家に避難できますか。
- ・過去の大型の台風のとまどうさされましたか。

支援者について

- ・担当のケアマネジャーやヘルパーの方はいますか。
- ・いる場合、その方に災害時のことを相談してもいいですか。
- ・近所に支援を頼ることができる方はいますか。
- ・いる場合、その方に災害時のことを相談してもいいですか。
- ・いない場合、支援していただける方を町会で探しますか。
- ・近所の方などに相談してもいいですか。
- ・近所の方の支援を希望しない場合、どんな支援を希望しますか。(役員や民生委員が動けない可能性もあります)

■ お伝えすること

- ・災害時に支援を行うのは町内会や近所の人になります。
- ・支援を行う人も被災者になりますから、支援ができない可能性もあります。
- ・町内会では様々な活動をしています。知り合いを作るきっかけにもなりますので、(ご家族と一緒に) 参加してみてもいいかがでしょうか。
- ・今後も、こうした訪問を行ってまいります。

■ 防災啓発 (2回目以降の話のきっかけ等に)

- ・地震被害を防ぐための部屋作り(家具の固定など)
- ・●●町内会の災害リスク
- ・●●町内会イベント(本人・家族の状況に応じて)

● 事例 11 災害時ボランティア
【募集チラシ（表面）】



●●町内会災害時レポーター 募集!!!

情報共有から始める、
我がまち「●●」の災害共助——

<対象者>
●●町内会とその周辺に在住・在勤・在学の方
町内会への加入有無は問いません

災害時に”可能な範囲で”身の回りの状況をレポートしたり、
共助の活動をしたりできる方を募集しています
詳しくは裏面をご確認ください>>>

※回覧のみで募集する場合は、別途資料があるのでご相談ください。

●●町内会災害時レポーターとは？

災害時に身の回りの状況を報告するボランティアです！

災害直後は公助がすぐに届かないことも多く、地域の自助・共助が大きな力になります。この制度は、皆さんが“できる範囲で”身の回りの情報を伝え合う仕組みです。一人ひとりの小さな取り組みが、地域の大きな助け合いにつながります。ぜひ一緒に“災害に強いまち”を築いていきましょう。

会長の
写真など

●●町内会 会長

なにをするの？

災害発生時に周囲の状況をレポートしてください

平常時の活動は基本的にありません

災害時には本部設営等のお手伝いを“できる範囲で”お願いすることがあります

どうやるの？

災害時レポーター用の連絡網に情報を流す形で共有します

連絡網はLINEグループ等を予定しています

制度運用のイメージ

レポートされた情報を、次の「共助」につなげていきます。



どこで申し込むの？

右記二次元コードよりアクセスできる
フォームにご回答ください

ご記入いただいた連絡先にご案内をお送りします。
※いただいた情報は本制度の運用以外の目的では使用いたしません。

災害時
レポーター
登録フォーム

二次元
コード

ご不明な点は●●町内会の役員にお尋ねください

● 事例 13 民間企業等との防災協定締結

【協定書】

災害時における相互協力に関する協定

甲（町内会名称）	●●町内会
乙（施設名称）	●●●●

上記の甲乙間において、次のとおり災害時における相互協力に関する協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条本協定は、川崎市●●町内会地区で災害が発生し、又は発生するおそれがある場合（以下「災害時等」という。）において、甲乙相互に連携した災害対策を図るとともに、平時からの情報交換などを進め、地区の防災力向上に資することを目的とする。

（協力要請）

第2条災害時等において必要があると認めるときは、甲と乙は、それぞれに協力を要請するものとする。

（協力内容）

第3条前条の規定による協力要請があったときは、特別な支障がない限り、次の事項を行うものとする。

- (1) 地区内の災害時等において、広域に避難する時間的余裕がないときは、乙は、甲の要請により又は自主的に、施設の一部について、命を守るための一時的な避難場所として地区の住民に無償で使用させること。
- (2) 地区内で災害が発生し、それぞれに支援が必要な場合は、甲乙互いの備蓄物資・資機材の提供や人員の派遣など、相互協力し災害対応を行うものとする。
- (3) その他地区の防災に関して甲乙双方が必要と認めること。

2 前条各号の内容を推進するため、甲乙は平時から継続的な協議に努める。

（実施期間）

第4条前条第1項に定める協力の期間は、災害時等から3日まで又は乙の施設が二次避難所として開設されるまでのいずれか短い期間とする。ただし、甲乙協議の上、災害の状況に応じて期間を変更することができる。

（有効期間）

第5条本協定の有効期間は、令和●年●月●日から令和●年●月●日とする。ただし、有効期間満了の日の30日前までに、甲又は乙から解約の申し出がない場合には、更に2年間有効期間を延長し、以後この例によるものとする。

（協議）

第6条本協定に定めのない事項、及び疑義が生じた事項は、その都度、甲乙協議して定めるものとする。

附則

本協定締結の証として、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自1通を保有する。

令和●年●月●日

甲 ●●町内会

会長 ●● ●● 印

乙 ●●●●

● 事例 14 イベント型防災訓練
【防災工作の手順書】

みんなで
作ろう！

カラフル 防災ランタン

災害時だけでなく、アウトドアにも！シールやマスキングテープで自由にアレンジ！
あなただけの素敵なランタンを作ってみましょう！

- 1 空のペットボトルにシールやテープを自由に貼ってみよう！
- 2 リボンをビニールテープでつけて持ち手を作ろう！
- 3 ペットボトルに水を入れて、ケミカルライトを入れよう！
- 4 キャップをしめればカラフル防災ランタンのできあがりだよ！

紙で食器を作ろう！

新聞紙やチラシなど、家にある紙を使って、災害時に使える紙食器を作ってみましょう！
ラップやポリ袋をかぶせれば使い捨ての食器として使用することができます！

コップ型

みそ汁やスープなどが入れやすい形です。

- 1 正方形の紙を三角形に折る
- 2 左右の角を折りたたむ
- 3 三角形の部分を外側に折る
- 4 広げてポリ袋をかぶせればできあがり！

【開催周知チラシ】

町内会 防災訓練

● 町内会

● 月●日(●) ●時～●時

会場 ●●●●
〔小雨決行・荒天中止〕

様々な防災体験コーナーで、子どもから高齢の方までの全世代が楽しみながら防災を学べるイベントになっています。ぜひお越しください！

実施内容 参加していただいた方にはプレゼントをご用意しています！

- 水消火器
- 炊き出し
- 消火ホースキット
- ポリ袋調理
- 煙体験
- 防災工作
- AED体験
- スタンプラリー

※駐輪場等はありませんので、自転車での来場はご遠慮ください。

主催：●●町内会 協賛：●●●●

【ビンゴシート】

町内会 防災訓練 BINGO

水消火器	救命講習 (AED)	防災工作
煙体験	受付	炊き出し
三角巾講習	土のう積み	起震車

体験したところでスタンプをおして、ビンゴを完成させよう！
2つビンゴすると、受付でプレゼントがもらえるよ！

スタッフ
手チェック欄

● 事例 16 町会イベント×防災活動

【シール投票パネル】

やってみたい！
と思うところに
シールを
はってね！

みんなで考えよう！

●●町内会の防災まちづくり

災害時に役に立ちそうだと思うものはどれですか？

地域の防災力を高めるために
町内会の活動に
ご協力をお願いします！
活動の実績は
掲示板や回覧板でお知らせします

<p>ペットボトルランタン</p> 	<p>新聞紙スリッパ</p> 	<p>キッチンペーパーマスク</p> 	<p>ゴミ袋ポンチョ</p> 
<p>楽しめる防災訓練</p> 	<p>防災用品の販売 (消火器や携帯トイレ)</p> 	<p>防災マスタッチ</p> 	<p>防災グッズキット 取扱訓練</p> 
<p>避難所運営体験</p> 	<p>防災マスタッチ</p> 	<p>防災マスタッチ</p> 	<p>防災マスタッチ</p> 
<p>防災マスタッチ</p> 	<p>防災マスタッチ</p> 	<p>防災マスタッチ</p> 	<p>防災マスタッチ</p> 

**結果を踏まえて
実施を検討します！**

防災を『楽しんで学ぶ』ことを目的に
町内会主催で防災グッズの
工作ワークショップを開催を
考えていますので
みなさんの意見をお聞かせください！

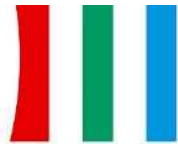
どの活動に参加してみたいですか？

5-4 町会別取組一覧(R7年度末時点)

区	町会	支援年数		
		1年目	2年目	3年目
川崎	大師第一地区社協 【川中島、藤崎、伊勢町、 大師駅前、大師中町】	・防災講座 ・防災まち歩き	・防災意見交換会 ・防災意見交換会 ・各町会での取組 ・各町会での取組	・防災意見交換会 ・各町会での取組 ・防災意見交換会
	観音	・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・要援護者支援 ・防災看板設置	・要援護者支援 ・マイタイムライン ・防災訓練 ・安否確認訓練
	昭和	・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災倉庫の棚卸 ・防災講座(水害) ・イベント型防災訓練	・防災倉庫の棚卸 ・防災講座(地震) ・災害時ボランティア ・イベント型防災訓練
	東門前三丁目	・防災講座 ・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	支援中	支援中
幸	小向	・防災講座 ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災意見交換会 ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災アンケート ・防災講座 ・民間との防災協定締結
	塚越地区 【第1～第4町会】	・防災講座 ・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災倉庫の棚卸 ・マンション防災検討	・防災倉庫設置 ・防災意見交換会 ・防災訓練
	小倉中	・イベント型防災訓練	・防災アンケート ・マイタイムライン ・イベント型防災訓練	・防災講座(水害) ・町会イベント×防災 ・イベント型防災訓練
	古市場2丁目	・防災アンケート ・防災まち歩き	・防災意見交換会 ・マイタイムライン ・防災講座(水害)	・防災講座(水害) ・イベント型防災訓練 ・防災意見交換会
	戸手	・防災講座 ・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災講座(水害) ・町会イベント×防災 ・イベント型防災訓練	支援中
	古川町	・防災まち歩き ・防災講座 ・防災アンケート ・防災まち歩き	・町会イベント×防災 ・安否確認訓練 ・イベント型防災訓練	支援中

区	町会	支援年数		
		1年目	2年目	3年目
中原	荻宿	・防災講座 ・防災まち歩き	・防災意見交換会 ・防災意見交換会	・防災意見交換会 ・電話連絡網訓練
	市ノ坪本	・防災意見交換会 ・防災アンケート	・防災倉庫の棚卸 ・防災意見交換会 ・防災意見交換会	・防災まち歩き ・マイタイムライン ・安否確認訓練
	中丸子中・南	・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・令和元年台風19号 振り返り会議 ・避難所運営方法検討	・避難所運営方法検討
	木月3丁目	・防災意見交換会 ・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災倉庫の棚卸	・防災用品の共同購入 ・防災ポリ袋クッキング ・防災意見交換会	・SNS勉強会 ・防災ポリ袋クッキング ・安否確認訓練 ・防災ポリ袋クッキング
	上平間第一	・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・令和元年台風19号 振り返り会議 ・防災講座(地震) ・イベント型防災訓練	・防災講座(地震) ・消火ホースキット ・イベント型防災訓練 ・防災意見交換会
	小杉陣屋町 一丁目	・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災倉庫の棚卸 ・防災用品の共同購入 ・町会イベント×防災	・町会イベント×防災 ・災害時ボランティア ・町会イベント×防災
	小杉陣屋町 二丁目	・防災講座 ・防災アンケート	・防災まち歩き ・防災講座(地震) ・町会イベント×防災 ・防災用品の共同購入	支援中
	中丸子東	・防災講座 ・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	支援中	支援中

区	町会	支援年数		
		1年目	2年目	3年目
高津	二子第二	・防災講座 ・防災意見交換会 ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災意見交換会 ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災アンケート ・防災意見交換会 ・防災意見交換会
	諏訪第二	・防災講座 ・防災まち歩き ・防災意見交換会 ・防災アンケート	・防災倉庫の棚卸 ・消火ホースキット 設置訓練 ・要援護者支援	・防災グッズの共同購入 ・安否確認訓練
	二子第三	・防災意見交換会 ・防災アンケート ・防災まち歩き	・防災倉庫設置 ・防災講座 ・防災アンケート ・防災講座	・防災講座 ・防災講座 ・防災アンケート ・防災講座
	諏訪第一	・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災倉庫の棚卸 ・令和元年台風19号 振り返り会議 ・イベント型防災訓練	・マイタイムライン ・防災グッズの共同購入 ・イベント型防災訓練
	二子第五	・防災講座 ・防災アンケート ・防災まち歩き ・防災意見交換会	支援中	支援中
宮前	馬絹	・防災講座 ・防災まち歩き ・意見交換会	・防災意見交換会 ・防災意見交換会 ・防災意見交換会	・災害用井戸の選定 ・一時避難場所の選定 ・防災意見交換会
多摩	かりがね台	・防災講座 ・防災意見交換会 ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災意見交換会 ・防災まち歩き ・防災意見交換会	・防災アンケート ・防災講座 ・防災意見交換会
	大作	・防災意見交換会 ・防災アンケート ・防災まち歩き	・SNS勉強会 ・マイタイムライン ・防災倉庫の棚卸	・マイタイムライン ・防災グッズ共同購入 ・ブロック別防災訓練
麻生	高石	・防災講座 ・防災まち歩き ・防災意見交換会 ・防災アンケート	・防災倉庫の棚卸 ・マイタイムライン ・防災まち歩き ・SNS勉強会	・防災まち歩き ・防災意見交換会 ・マイタイムライン ・防災講座



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

防災まちづくり事例集
～わたしたちのまちの防災活動～
令和6(2024)年3月発行
令和8(2026)年3月改訂

■問い合わせ

川崎市まちづくり局市街地整備部防災まちづくり推進課

Tel:044-200-3012 Fax:044-200-0984